

都の広報・広聴に関する世論調査〈概要〉

令和6年12月

調査実施の概要

1 調査目的

都政一般広報・広聴活動について、広く都民の意見を聞き、都の広報広聴について、都民がどのように接し、どう理解し、評価しているか、また、どのような広報媒体で、どのような情報提供を望んでいるか等を調査して、今後の広報広聴事業に役立てる資料とする。
また、今回は附帯テーマとして、多文化共生に関する意識等を調査した。

2 調査項目

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| (1) 一般メディア・東京都の広報媒体・
都政情報の興味関心 | (4) 東京都提供のテレビ・ラジオ番組 |
| (2) 広報紙「広報東京都」 | (5) 東京都のデジタルポータルサイト |
| (3) 東京都公式ホームページ | (6) 東京都の広聴活動 |
| | (7) 多文化共生 |

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送送付・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
- (5) 調査期間：令和6年6月14日～7月15日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率） 1,544標本（38.6%）〔うち郵送946標本、インターネット598標本〕
- (2) 未完了標本数（率） 2,456標本（61.4%）

	標本数	回収数	回収率（%）
18・19歳	67	17	25.4
20代	631	111	17.6
30代	610	183	30.0
40代	689	248	36.0
50代	711	299	42.1
60代	489	264	54.0
70歳以上	803	408	50.8
無回答		14	
合計	4,000	1,544	38.6

調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。

※個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある。

※M. A. はいくつでも選択、3M. A. は3つまで選択、5M. A. は5つまで選択

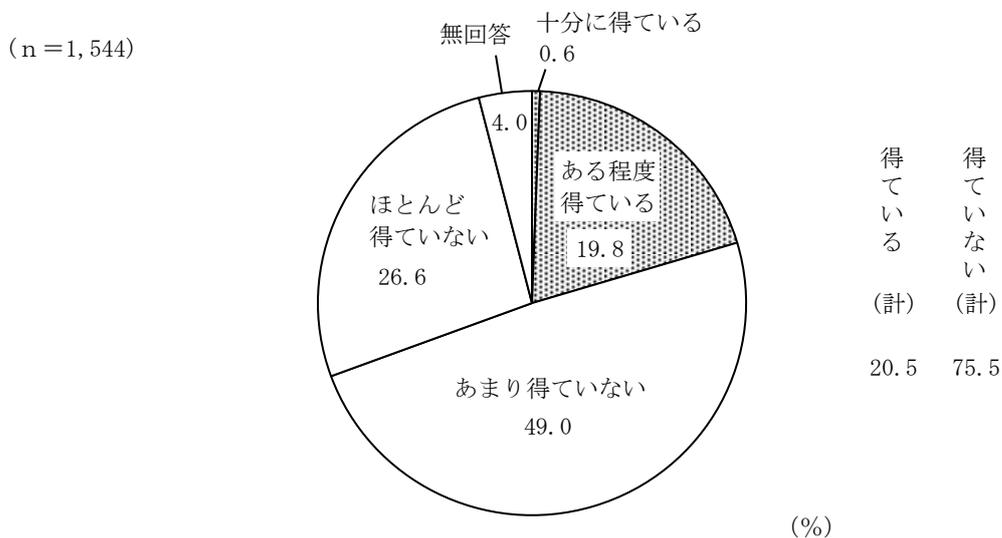
※M. T. は回答の合計をnで割り100を乗じた数

1 一般メディア・東京都の広報媒体・都政情報の興味関心

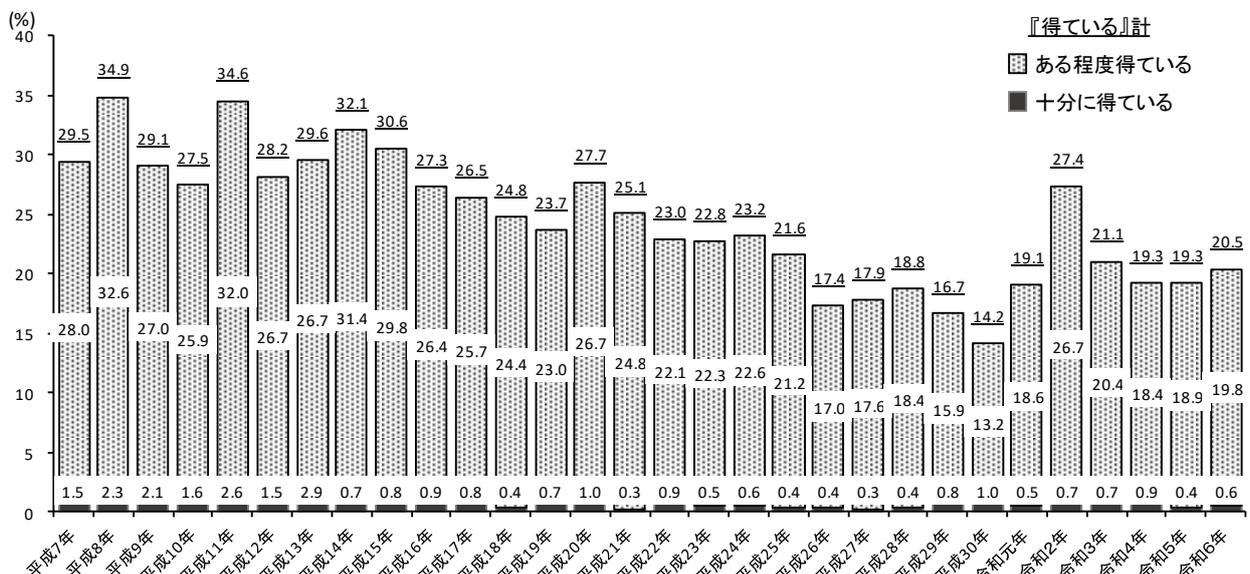
(1) 都政情報の充足状況：日頃、東京都が行っている事業や施策について、どの程度情報を得ていると思うか聞いた。

(本文P3～P6)

- ・『得ている (計)』は21%
- ・『得ていない (計)』は76%



(注) 『得ている (計)』は「十分に得ている」「ある程度得ている」の合計
『得ていない (計)』は「ほとんど得ていない」「あまり得ていない」の合計

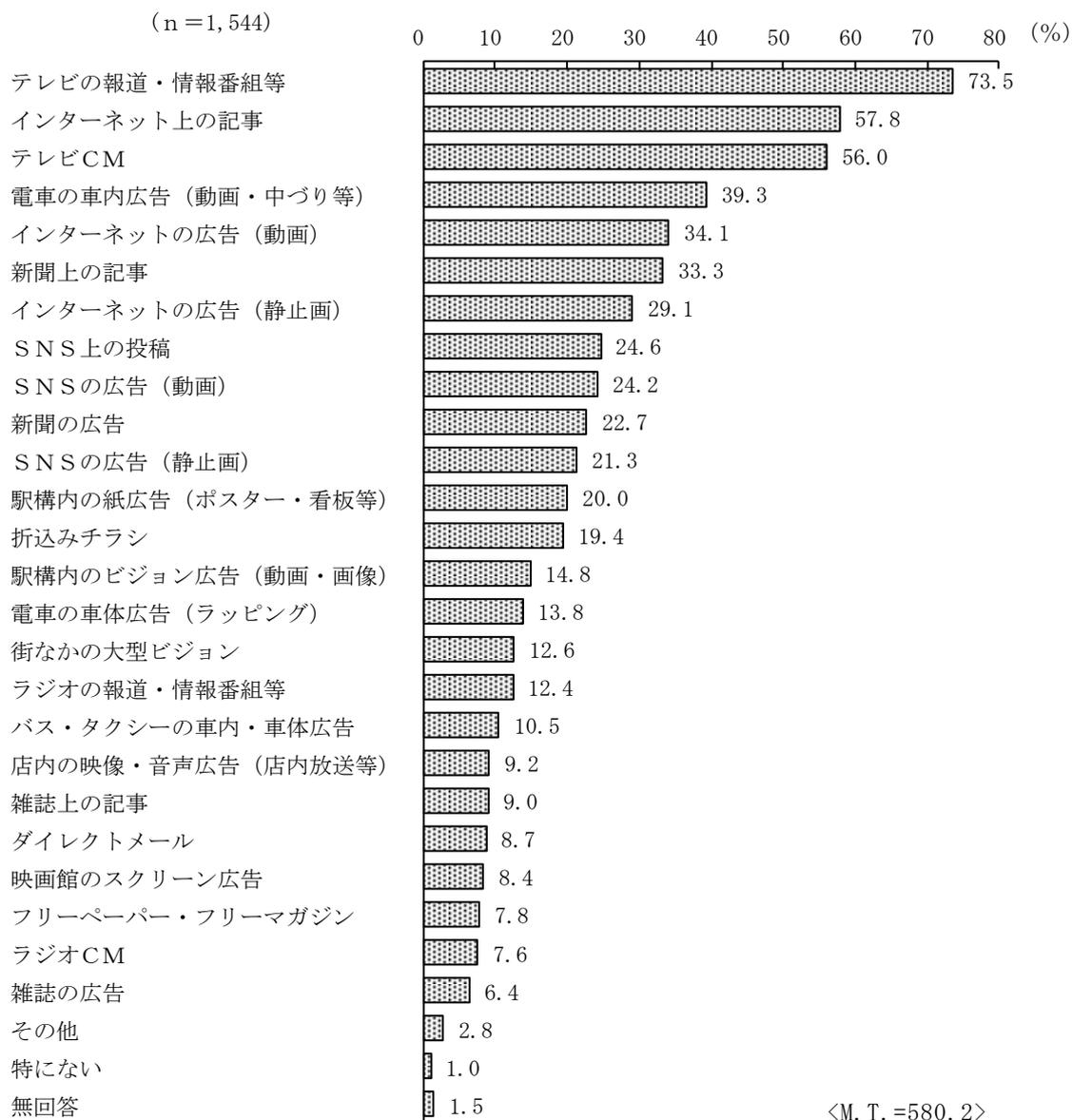


(2) [一般メディア] 普段よく見聞きする媒体・手段：普段よく見聞きする媒体・手段を聞いた。

(M. A.)

(本文P7～P11)

・「テレビの報道・情報番組等」74%、「インターネット上の記事」58%、「テレビCM」56%と続く

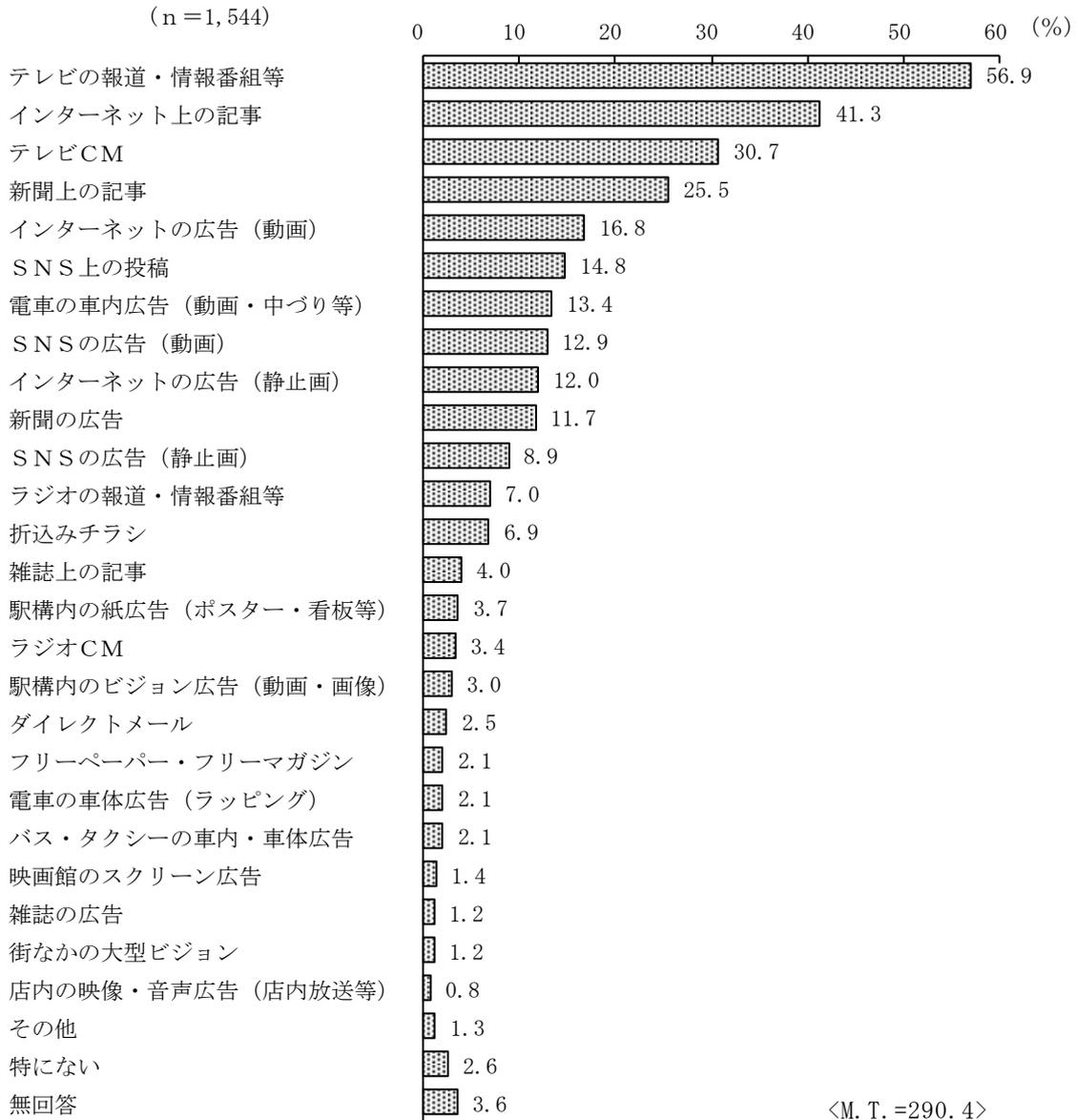


(3) [一般メディア] 特に情報を覚えている、影響を受けている媒体・手段：

特に情報を覚えている、影響を受けている媒体・手段を聞いた。(5M. A.)

(本文P12～P15)

・「テレビの報道・情報番組等」57%、「インターネット上の記事」41%、「テレビCM」31%と続く

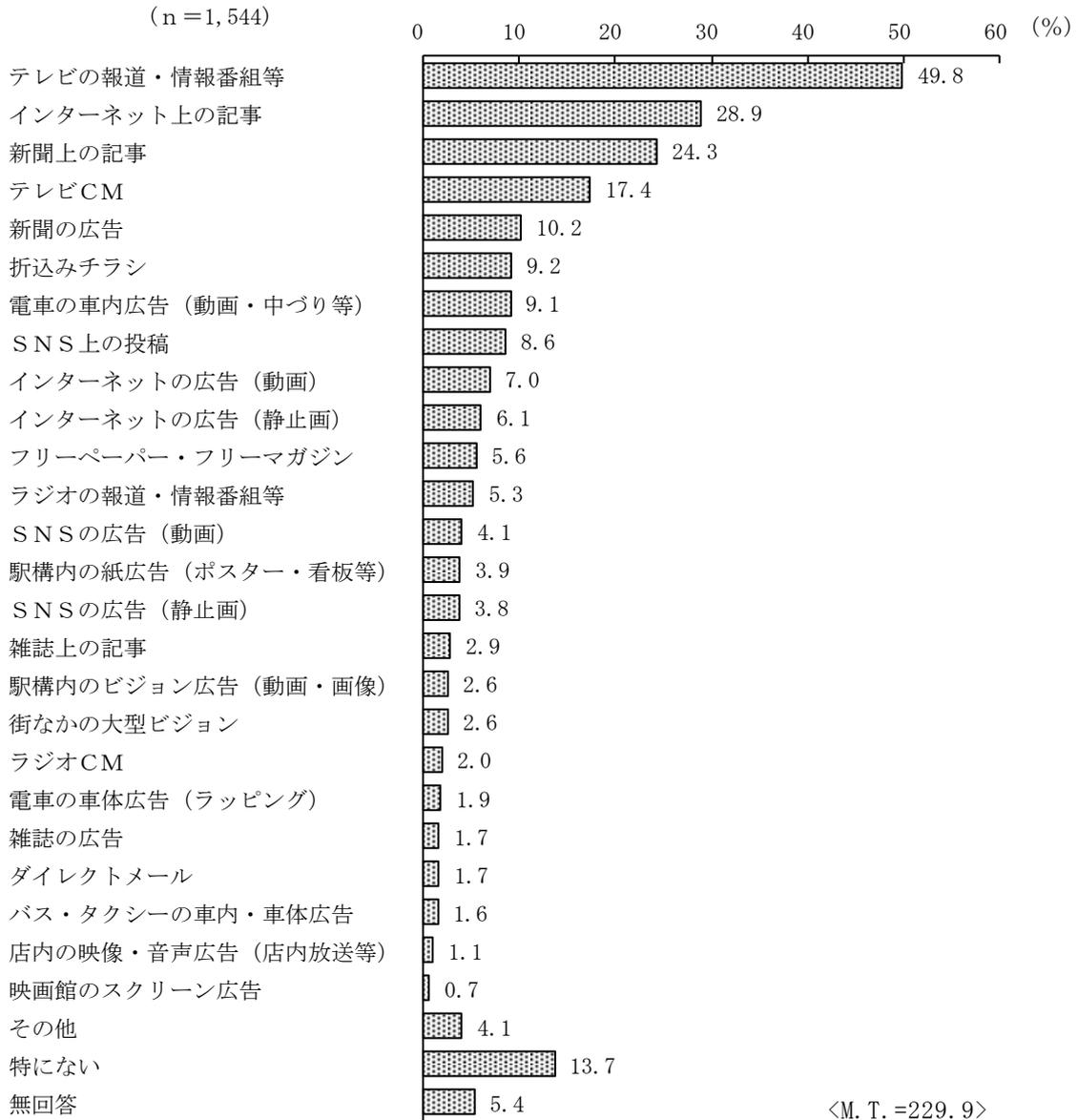


(4) [一般メディア] この1年間で東京都の事業や施策の情報を得たことがある媒体・手段：

この1年間で、東京都が行っている事業や施策についての情報を得たことがある媒体・手段を聞いた。(M. A.)

(本文P16～P20)

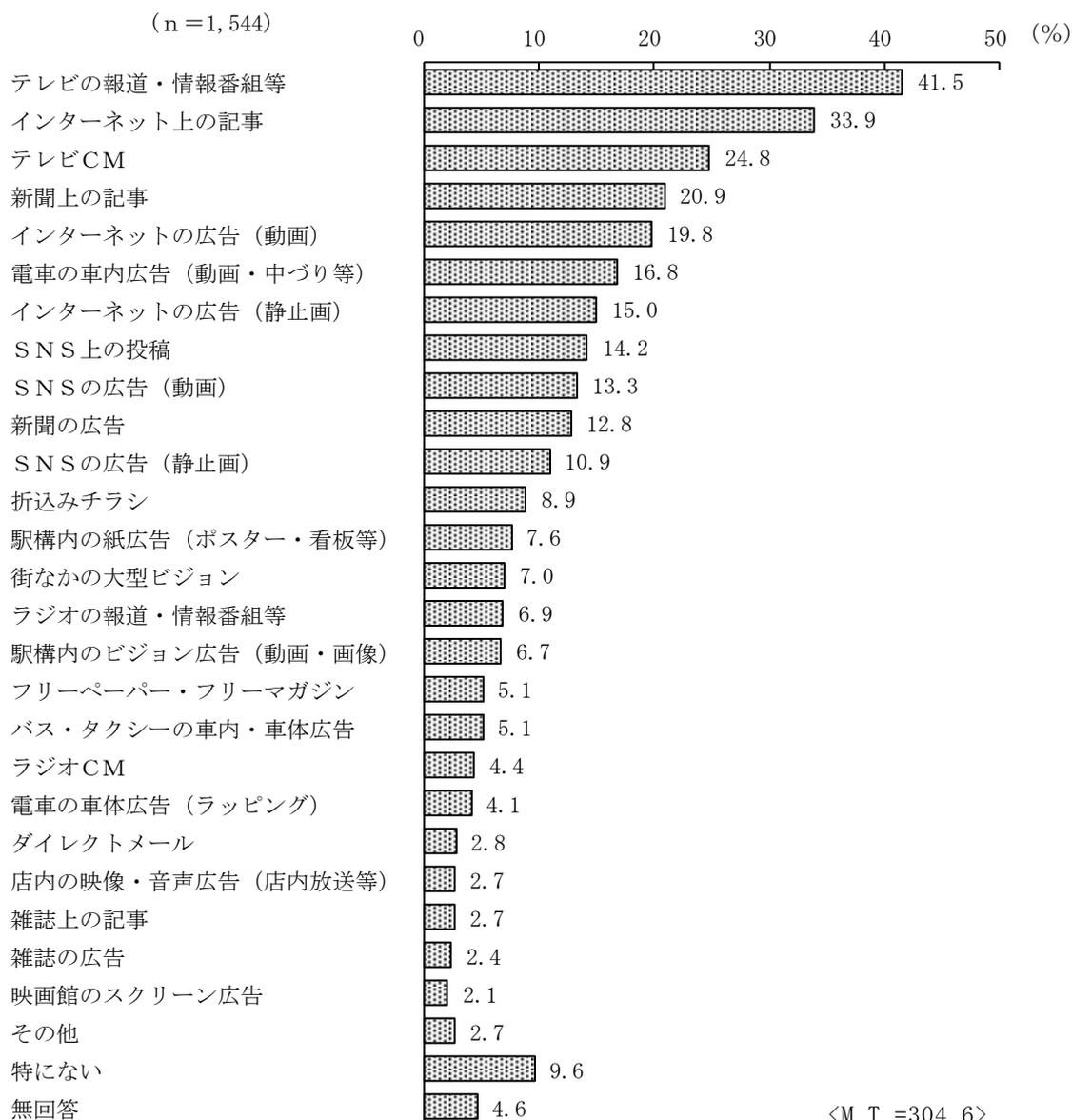
・「テレビの報道・情報番組等」50%、「インターネット上の記事」29%、「新聞上の記事」24%と続く



(5) [一般メディア] 力を入れてほしいと思う媒体・手段：今後、東京都が広報活動を行っていく上で力を入れてほしいと思う媒体・手段を聞いた。(M. A.)

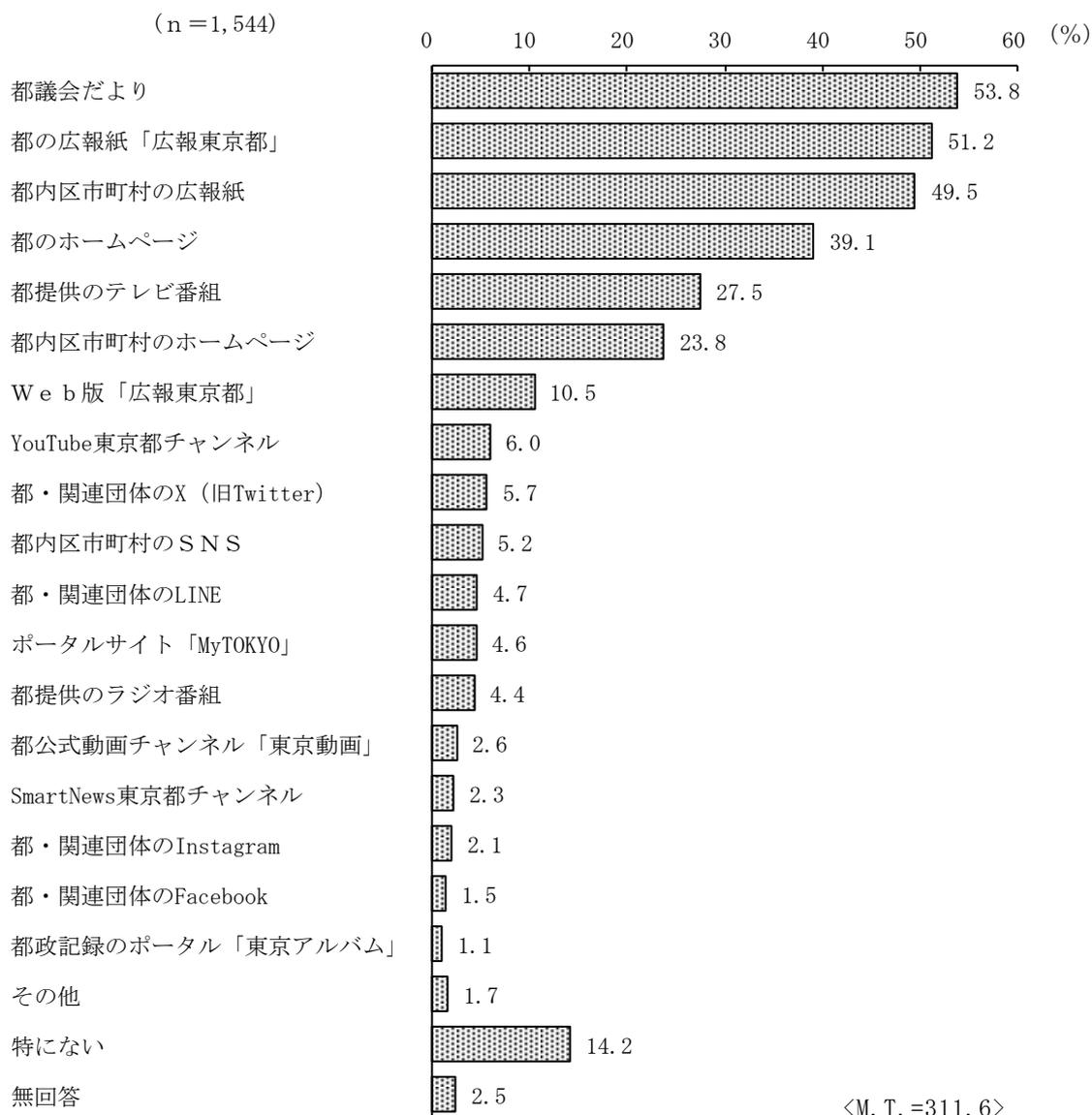
(本文P21～P25)

・「テレビの報道・情報番組等」42%、「インターネット上の記事」34%、「テレビCM」25%と続く



(6) [東京都の広報媒体] 知っている媒体：東京都の広報媒体で、知っている媒体を聞いた。(M. A.)
 (本文 P26～P30)

・「都議会だより」54%、「都の広報紙『広報東京都』」51%、「都内区市町村の広報紙」50%と続く

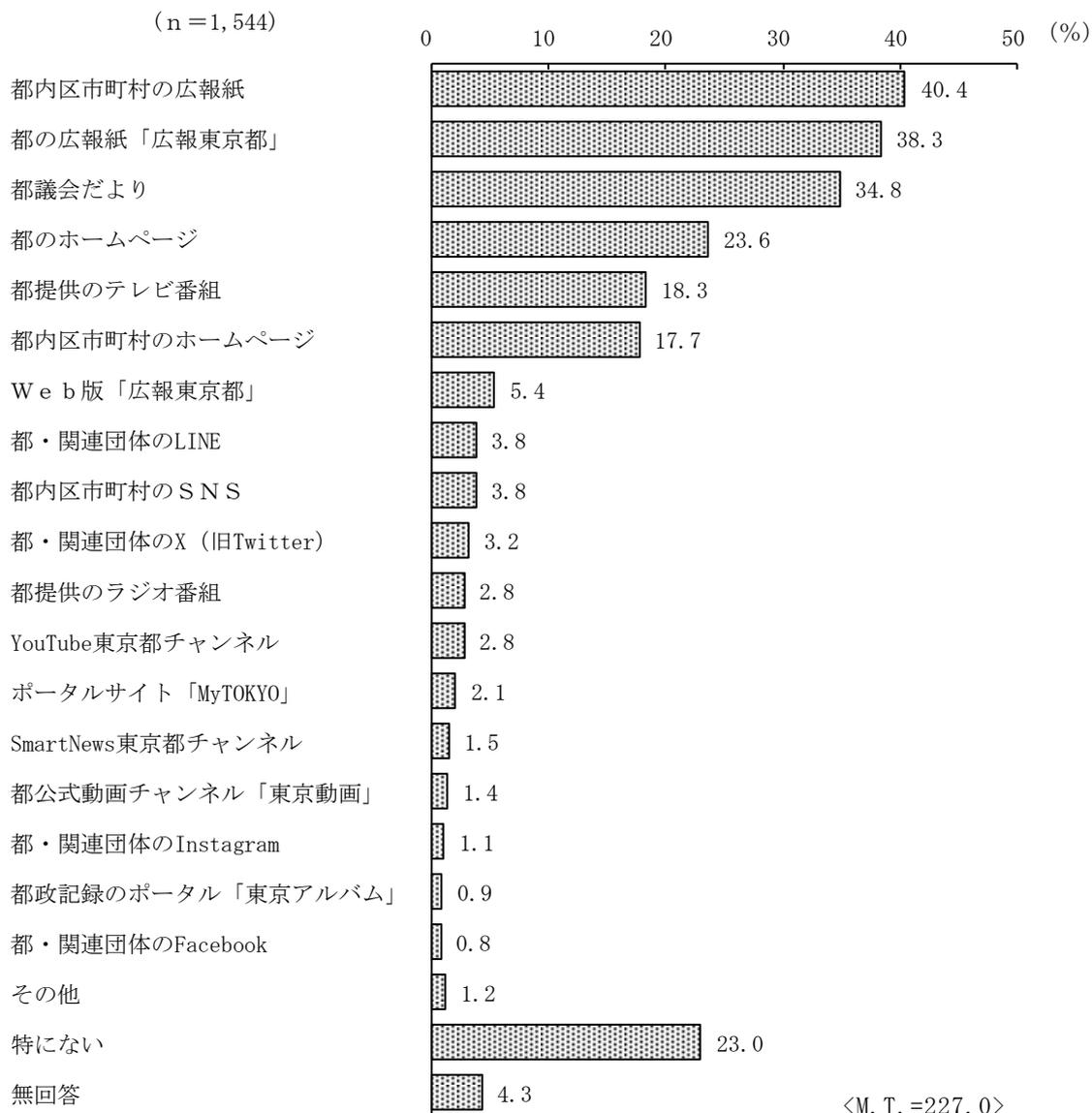


(7) [東京都の広報媒体] この1年で実際に手に取ったり、視聴した媒体：

東京都の広報媒体で、この1年で実際に手に取ったり、視聴した媒体を聞いた。(M. A.)

(本文P31～P35)

・「区内区市町村の広報紙」40%、「都の広報紙『広報東京都』」38%、「都議会だより」35%と続く

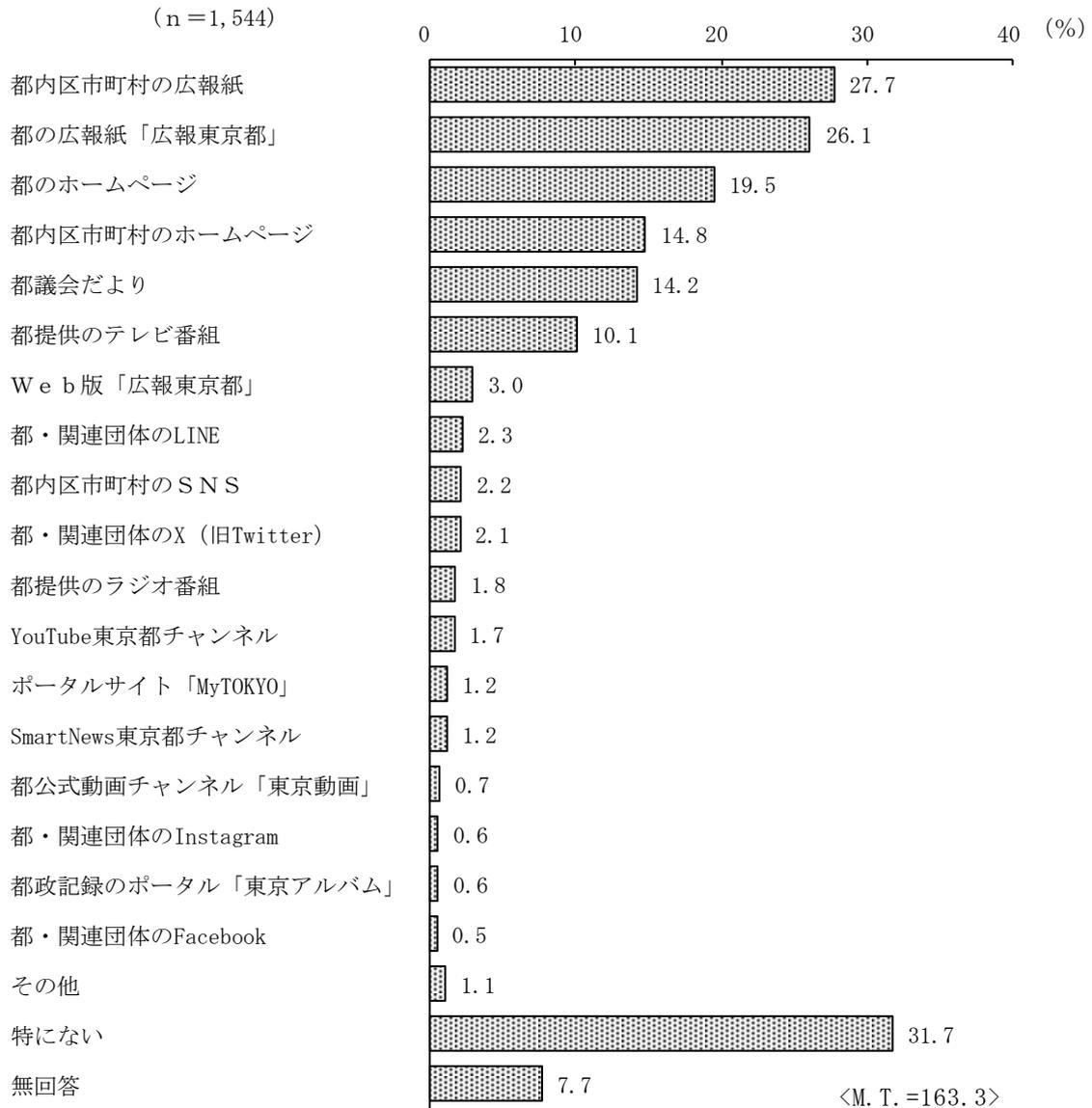


(8) [東京都の広報媒体] 欲しい情報、知りたい情報が得られた媒体：

東京都の広報媒体で、欲しい情報、知りたい情報が得られた媒体を聞いた。(M. A.)

(本文P36～P39)

・「区内区市町村の広報紙」28%、「都の広報紙『広報東京都』」26%、「都のホームページ」20%と続く

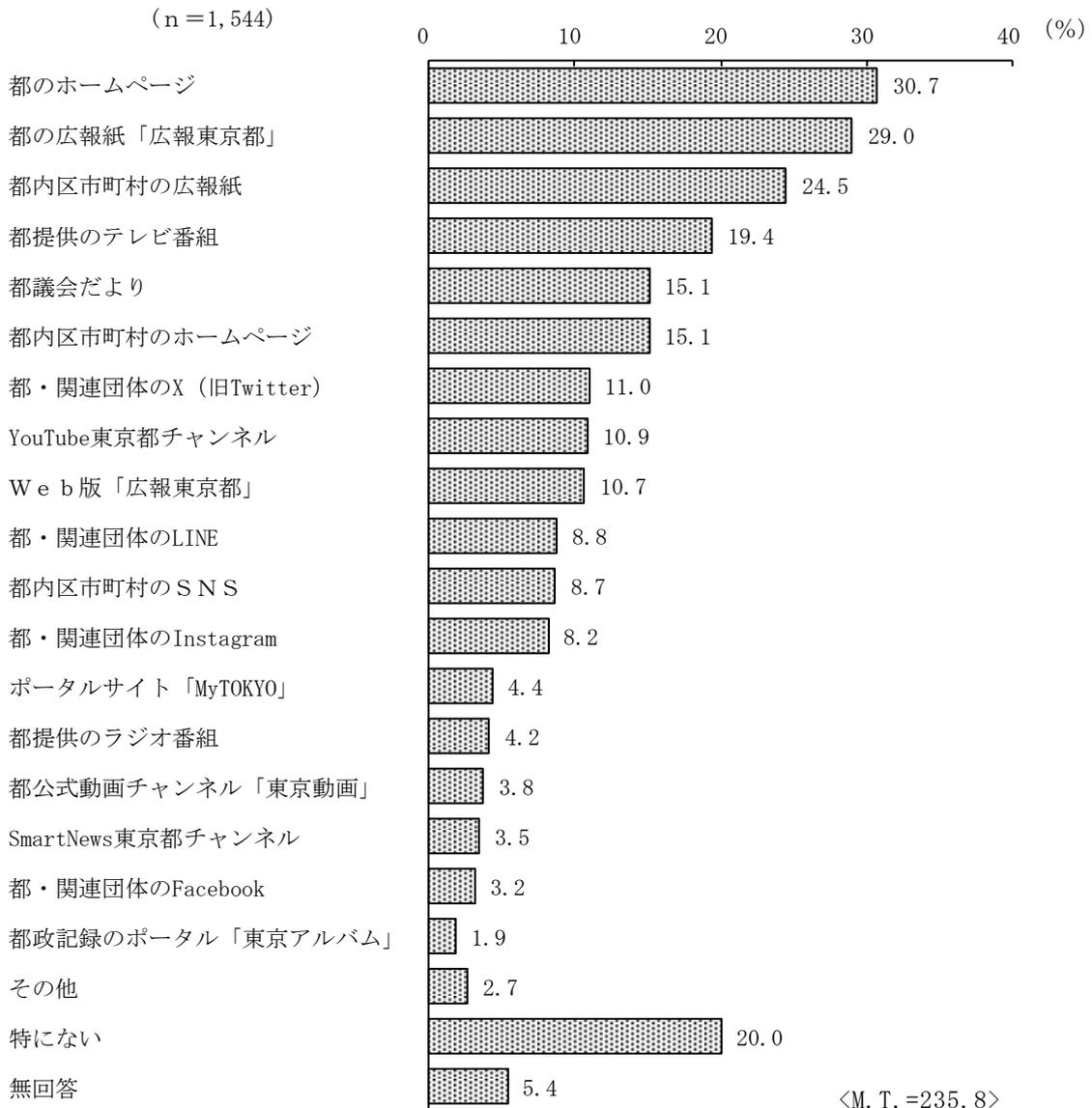


(9) [東京都の広報媒体] 力を入れてほしいと思う媒体：今後、東京都が広報活動を行っていく上で力を入れてほしいと思う媒体を聞いた。

(M. A.)

(本文P40～P44)

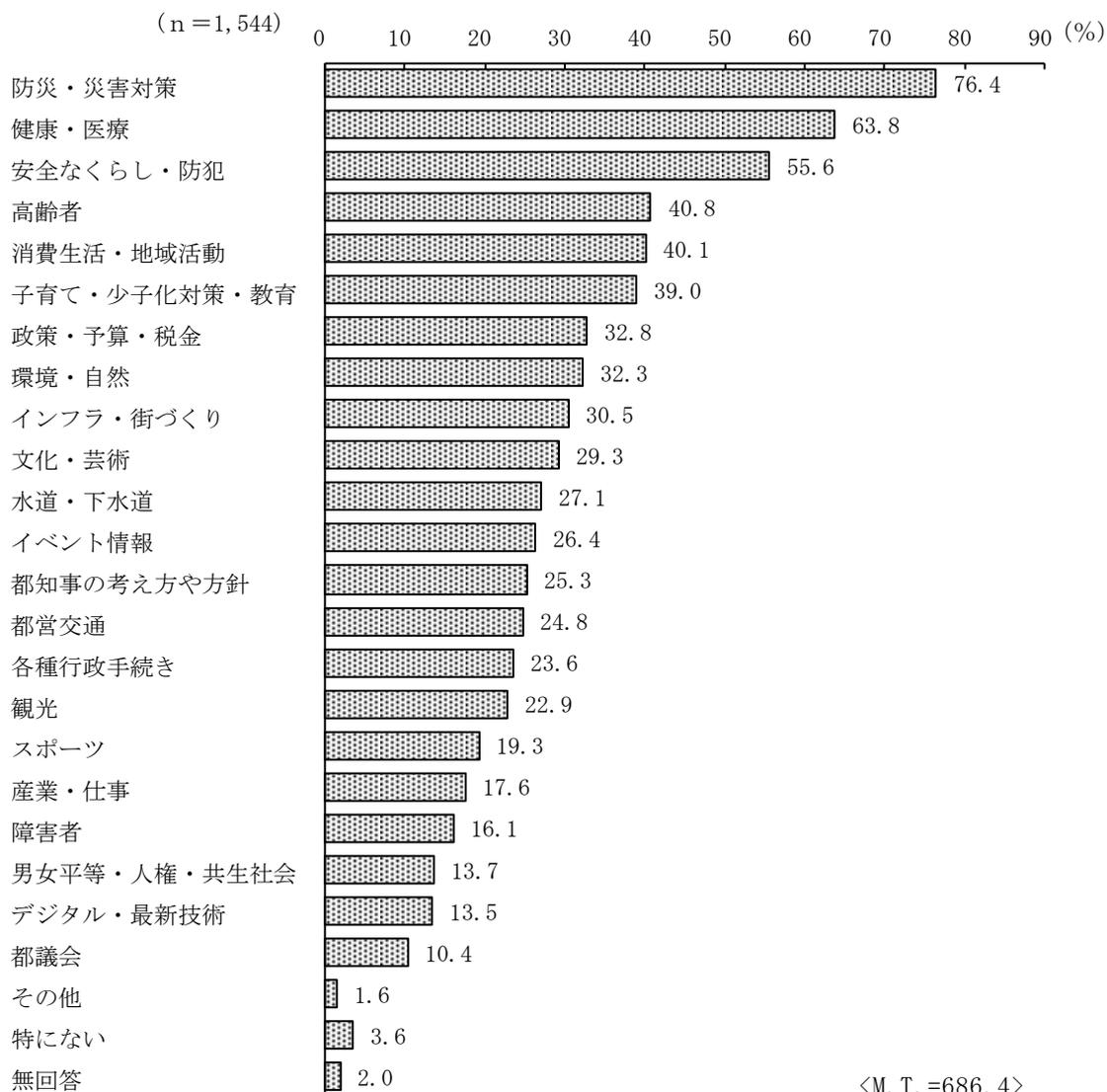
・「都のホームページ」31%、「都の広報紙『広報東京都』」29%、「都内区市町村の広報紙」25%と続く



(10) [都政情報] 興味・関心のある事業や施策：東京都が行っている事業や施策について、興味・関心をお持ちのものを聞いた。(M. A.)

(本文P45～P49)

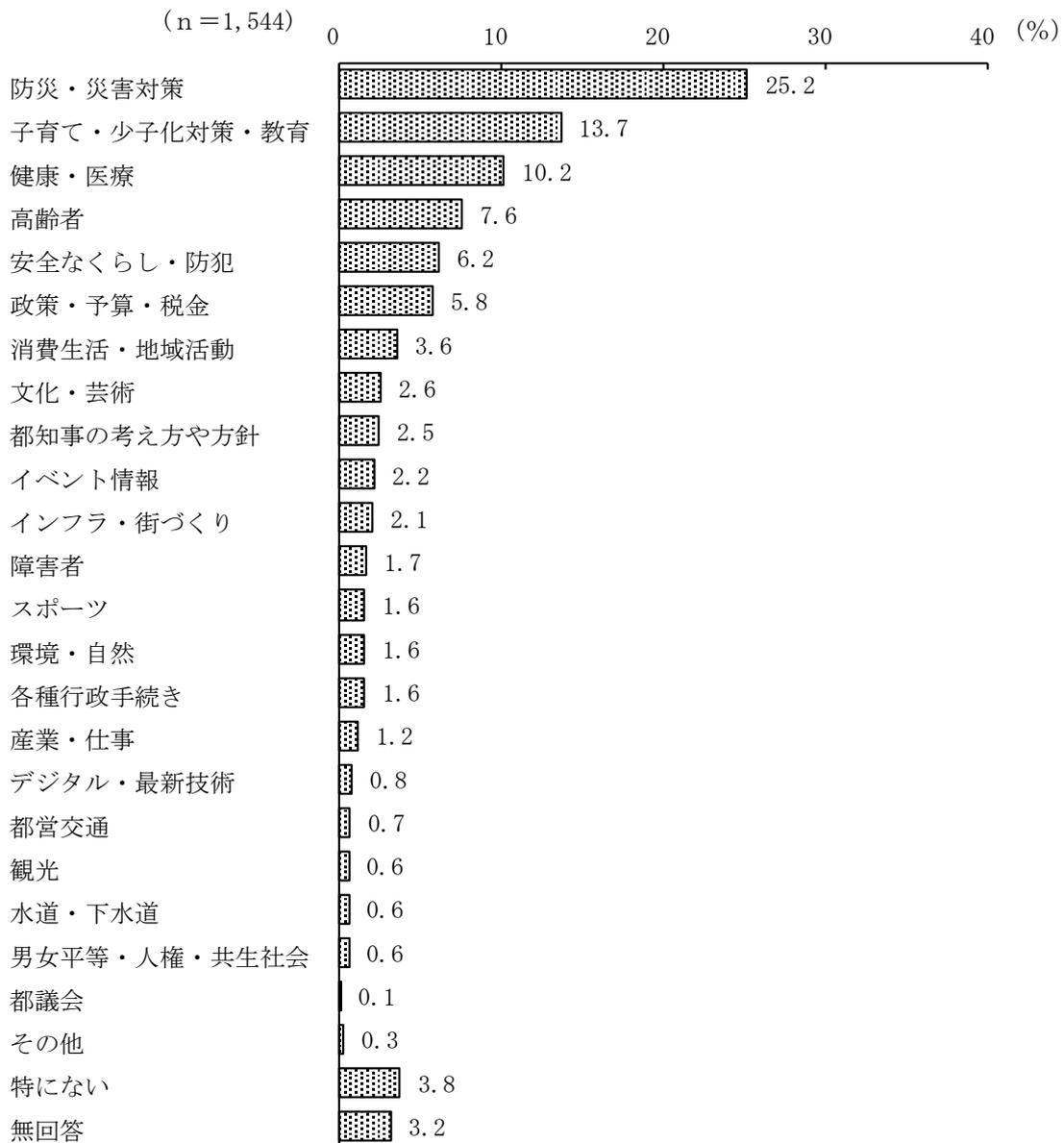
・「防災・災害対策」76%、「健康・医療」64%、「安全なくらし・防犯」56%と続く



(11) [都政情報] 最も興味・関心のある事業や施策：東京都が行っている事業や施策について、最も興味・関心をお持ちのものを聞いた。

(本文P50～P54)

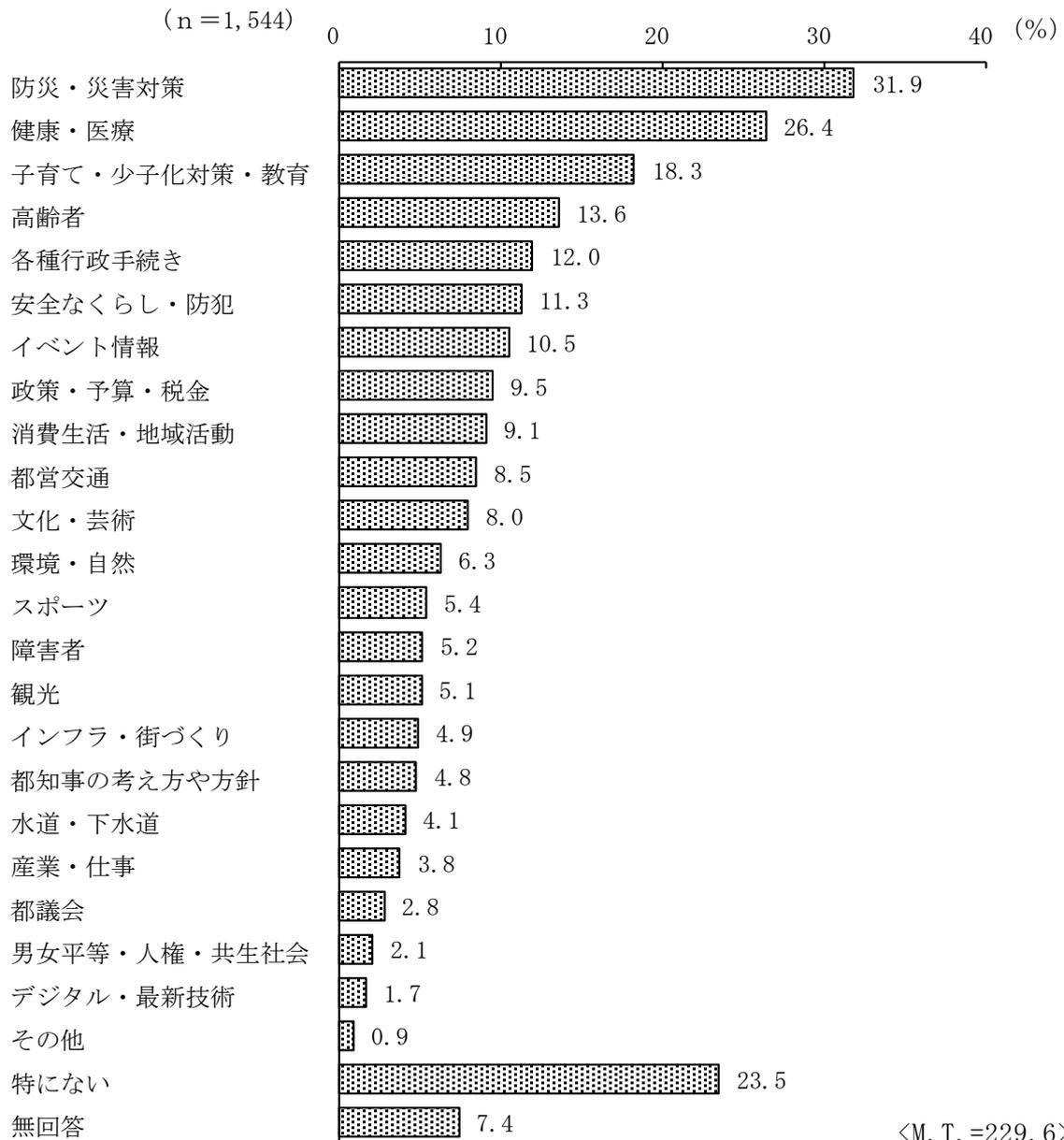
・「防災・災害対策」25%、「子育て・少子化対策・教育」14%、「健康・医療」10%と続く



(12) [都政情報] 自ら情報を取得するために行動した事業や施策：東京都が行っている事業や施策のうち、情報を検索するなど、自ら情報を取得するために行動したものを聞いた。(M. A.)

(本文 P 55～P 59)

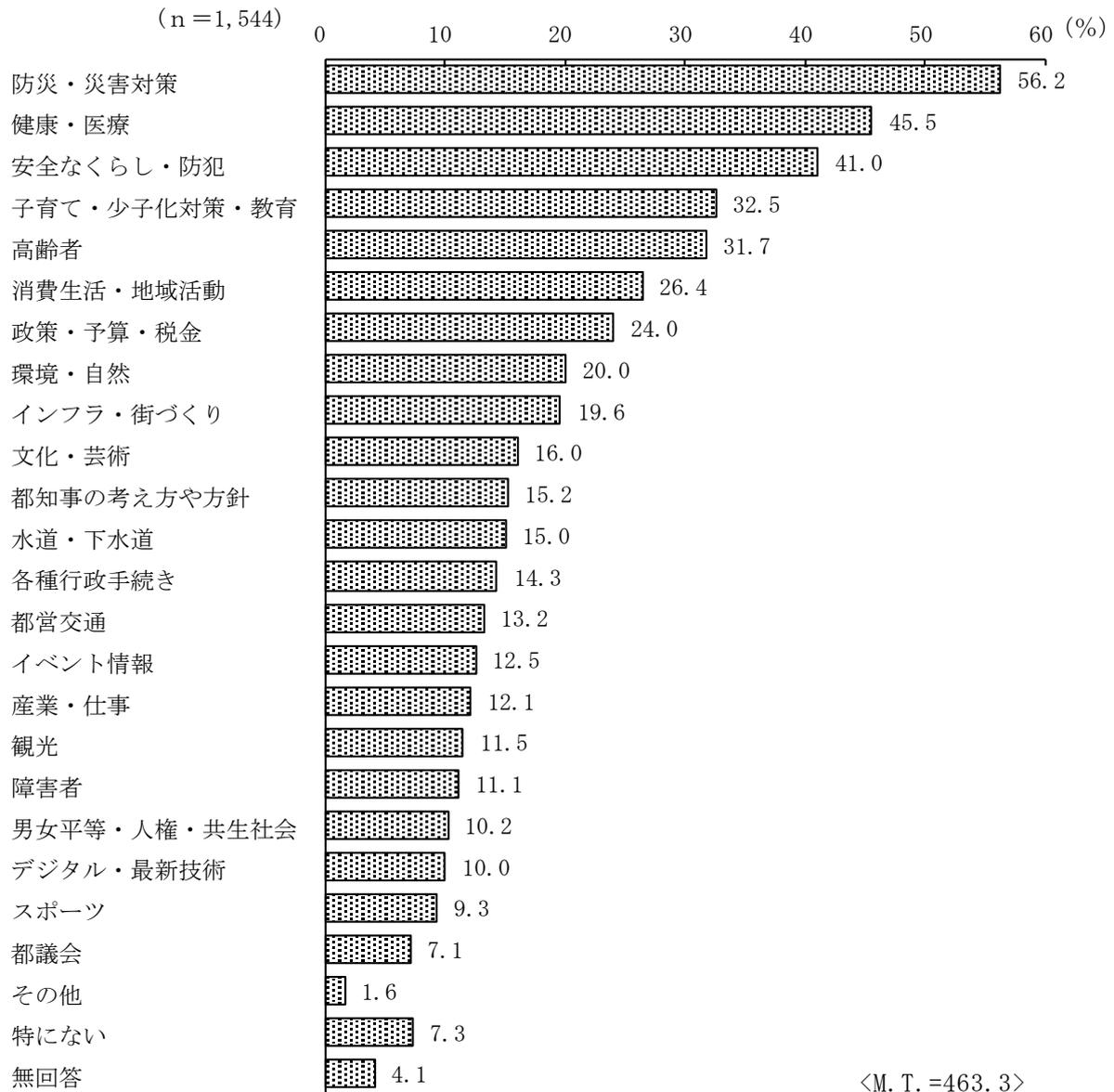
・「防災・災害対策」32%、「健康・医療」26%、「子育て・少子化対策・教育」18%と続く



(13) [都政情報] 力を入れてほしいと思う情報：今後、東京都が広報活動を行っていく上で、力を入れてほしいと思う情報を聞いた。(M. A.)

(本文P60～P64)

・「防災・災害対策」56%、「健康・医療」46%、「安全な暮らし・防犯」41%と続く

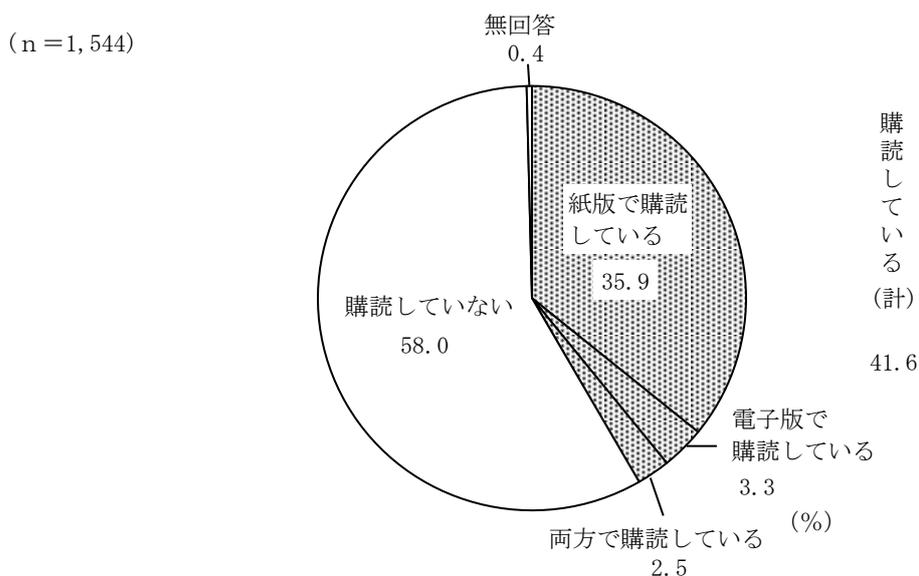


2 広報紙「広報東京都」

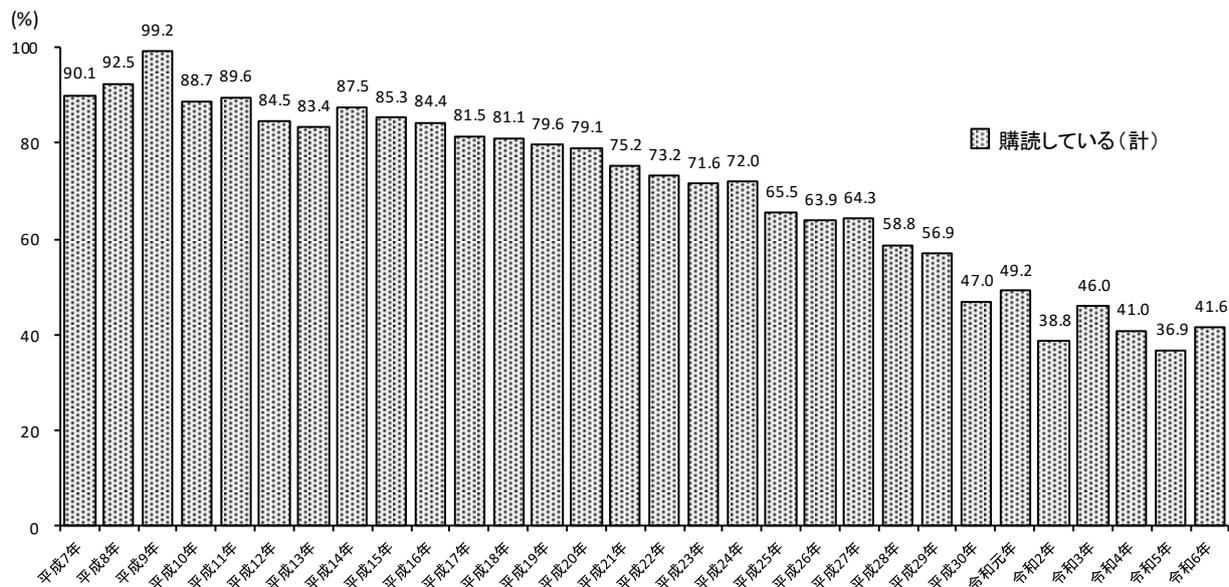
(1) 新聞の購読状況：朝日・毎日・読売・日経・産経・東京のいずれかの新聞を定期購読しているか聞いた。

(本文 P65～P68)

- ・『購読している（計）』は 42%
- ・「購読していない」は 58%



(注) 『購読している（計）』は「紙版で購読している」「電子版で購読している」「両方で購読している」の合計



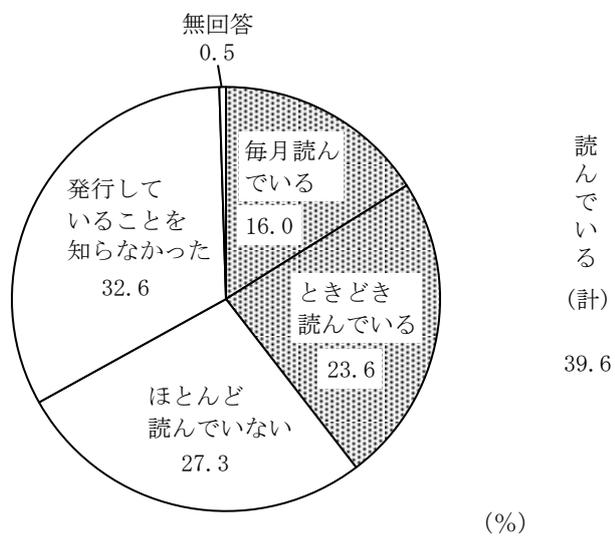
(注) 『購読している（計）』は「紙版で購読している」「電子版で購読している」「両方で購読している」の合計

(2) 広報東京都の閲読状況：東京都が毎月1回発行している広報紙「広報東京都」を、普段、どの程度読んでいるか聞いた。

(本文P69～P72)

- ・『読んでいる（計）』は40%
- ・「ほとんど読んでいない」は27%
- ・「発行していることを知らなかった」は33%

(n=1,544)

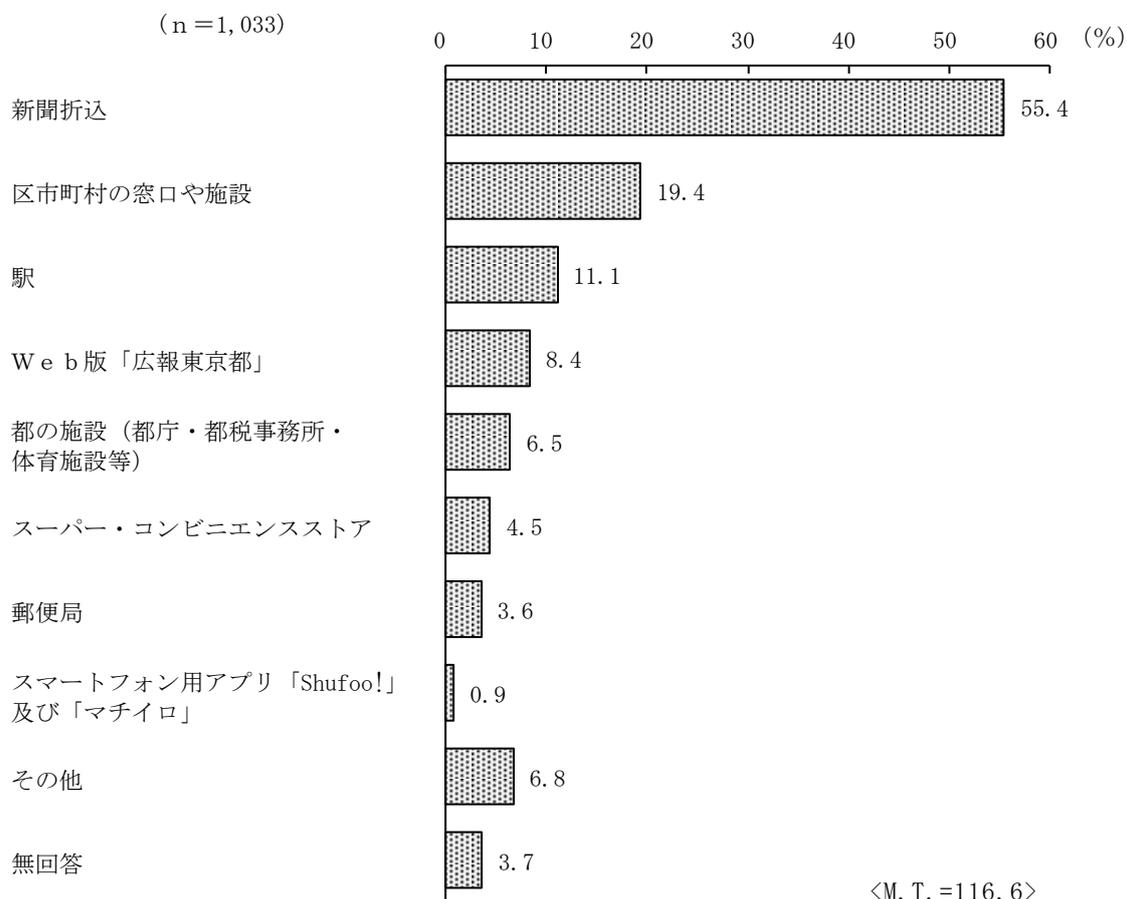


(注)『読んでいる（計）』は「毎月読んでいる」「ときどき読んでいる」の合計

(3) 広報東京都の入手方法：広報東京都を「毎月読んでいる」「ときどき読んでいる」「ほとんど読んでいない」と答えた人（1,033人）に、どのように広報東京都を入手しているか聞いた。（M. A.）

（本文P73～P75）

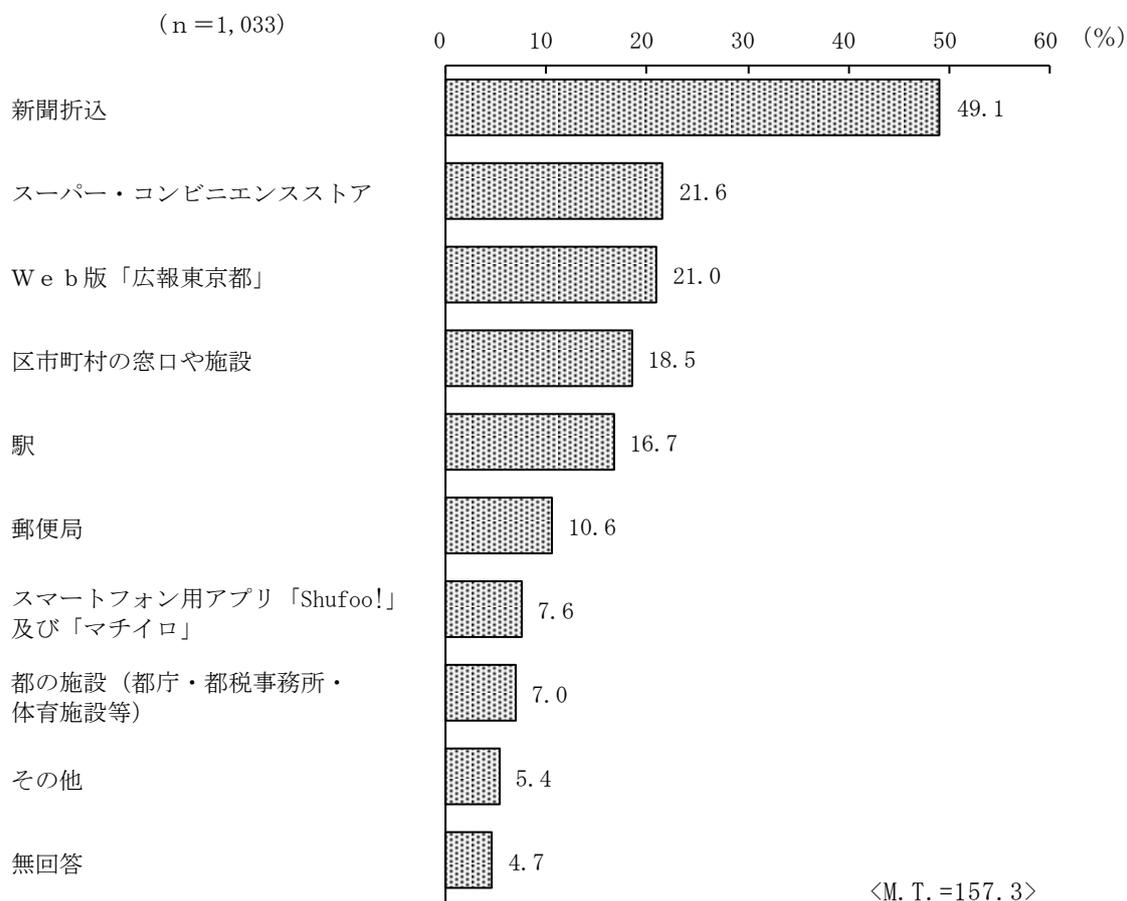
・「新聞折込」55%、「区市町村の窓口や施設」19%、「駅」11%と続く



(4) 希望する広報東京都の入手方法：広報東京都を「毎月読んでいる」「ときどき読んでいる」「ほとんど読んでいない」と答えた人(1,033人)に、今後、どのように広報東京都を入手したいか聞いた。(M. A.)

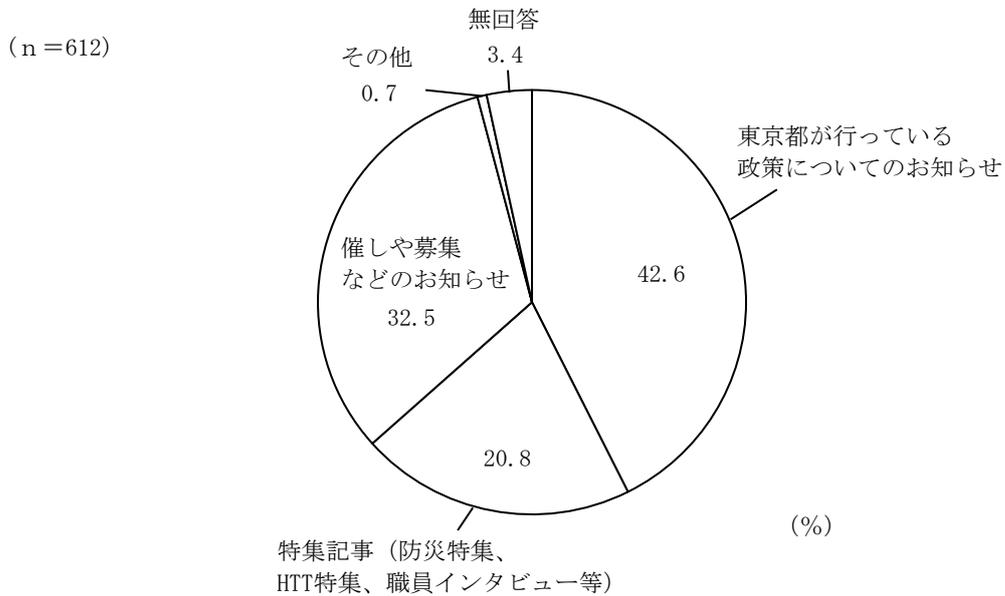
(本文P76～P77)

・「新聞折込」49%、「スーパー・コンビニエンスストア」22%、「Web版『広報東京都』」21%と続く



(5) 広報東京都をよく読む記事：広報東京都を「毎月読んでいる」「ときどき読んでいる」と答えた人（612人）に、掲載されている内容で、最もよく読むものを聞いた。
（本文P78～P79）

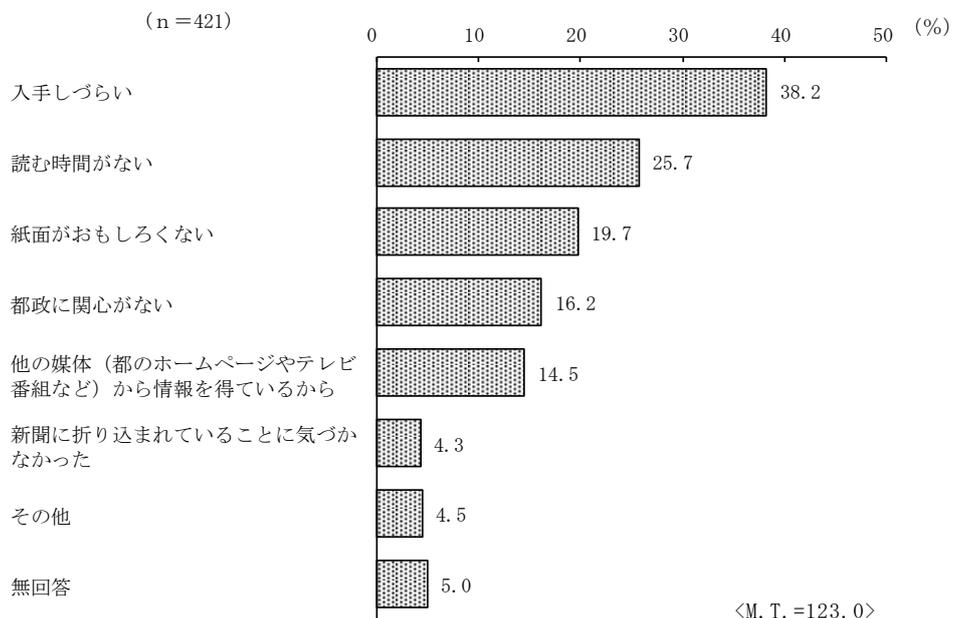
・「東京都が行っている政策についてのお知らせ」43%、「催しや募集などのお知らせ」33%、「特集記事（防災特集、HTT特集、職員インタビュー等）」21%と続く



(6) 広報東京都を読まない理由：広報東京都を「ほとんど読んでいない」と答えた人（421人）に、主な理由を聞いた。（M. A.）

（本文P80～P82）

・「入手しづらい」38%、「読む時間がない」26%、「紙面がおもしろくない」20%と続く

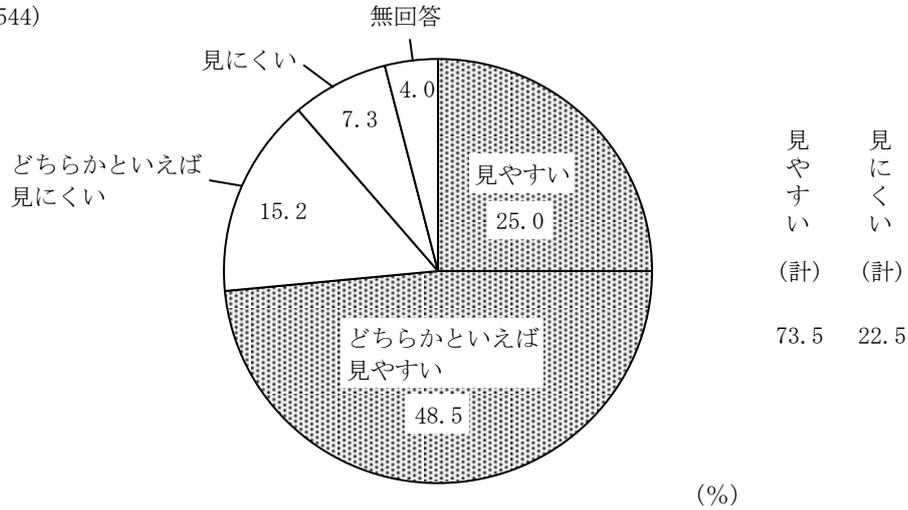


(7) 広報東京都の印象（レイアウト）：広報東京都の「レイアウト（見やすさ）」についてどう思うか聞いた。

(本文P83～P84)

- ・『見やすい（計）』は74%
- ・『見にくい（計）』は23%

(n=1,544)



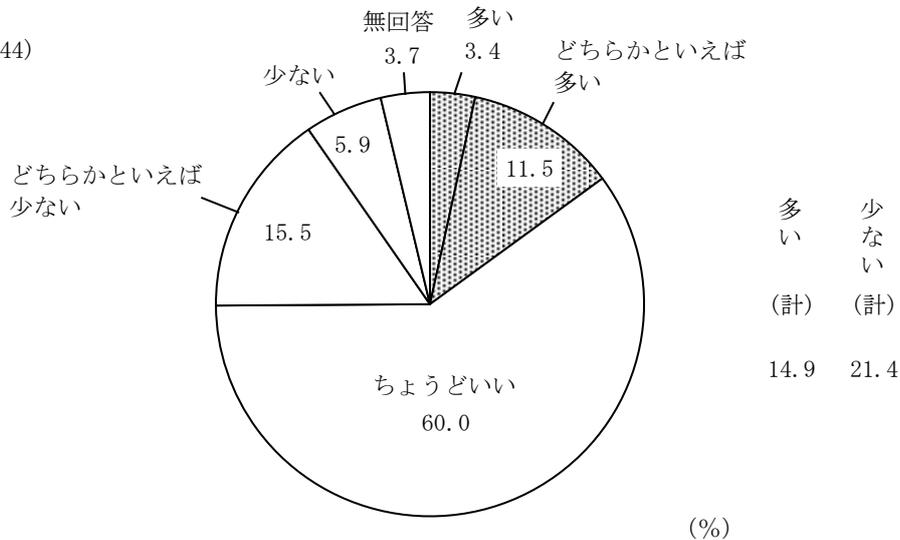
(注) 『見やすい（計）』は「見やすい」「どちらかといえば見やすい」の合計
 『見にくい（計）』は「見にくい」「どちらかといえば見にくい」の合計

(8) 広報東京都の印象（情報量）：広報東京都の「情報量」についてどう思うか聞いた。

(本文P85～P86)

- ・「ちょうどいい」は60%
- ・『多い（計）』は15%
- ・『少ない（計）』は21%

(n=1,544)

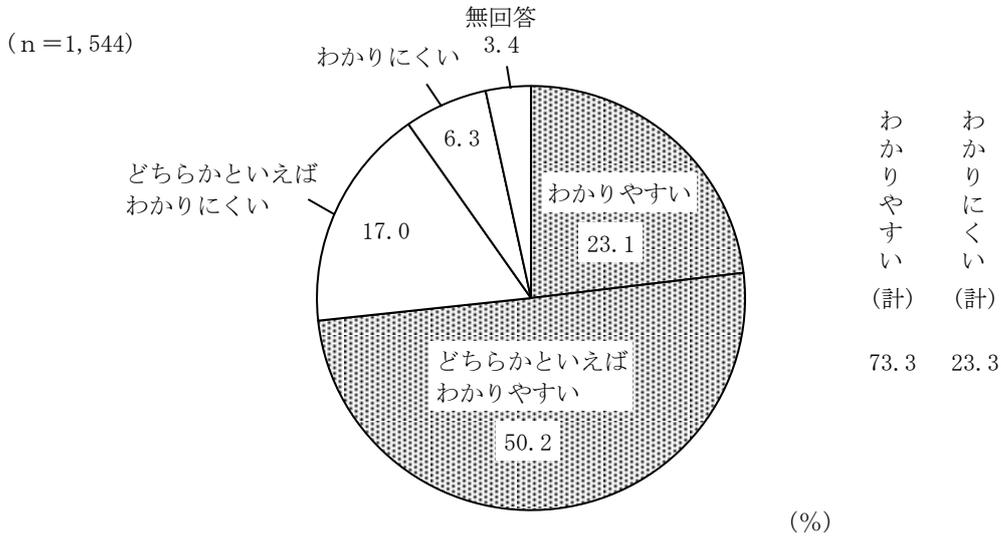


(注) 『多い（計）』は「多い」「どちらかといえば多い」の合計
 『少ない（計）』は「少ない」「どちらかといえば少ない」の合計

(9) 広報東京都の印象（記事内容のわかりやすさ）：広報東京都の「記事内容のわかりやすさ」についてどう思うか聞いた。

(本文P87～P89)

- ・『わかりやすい（計）』は73%
- ・『わかりにくい（計）』は23%



(注) 『わかりやすい（計）』は「わかりやすい」「どちらかといえばわかりやすい」の合計
 『わかりにくい（計）』は「わかりにくい」「どちらかといえばわかりにくい」の合計

(10) 広報東京都の満足度：広報東京都の満足度を聞いた。

(本文P90～P91)

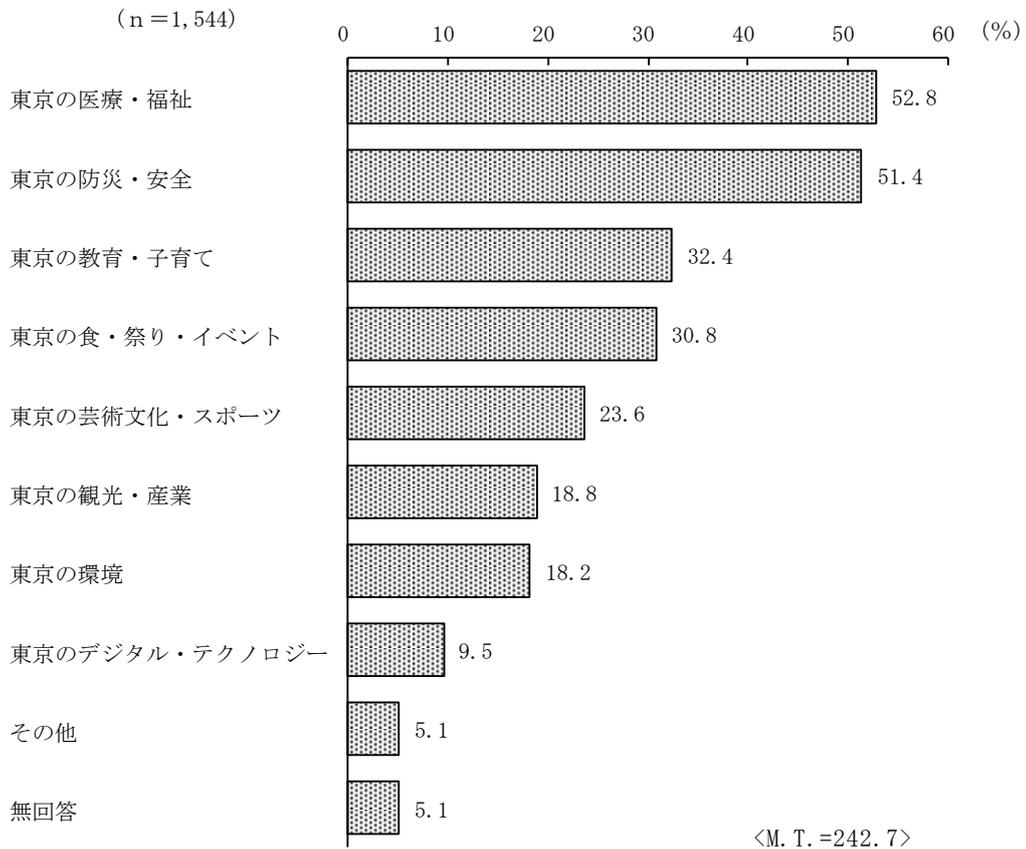
- ・『満足（計）』は72.3%、『不満（計）』は24.5%

(注) 『満足（計）』は「満足」「まあ満足」の合計
 『不満（計）』は「不満」「やや不満」の合計

(11) 広報東京都の特集記事として読みたいテーマ：広報東京都の特集記事として読みたいテーマを聞いた。(M. A.)

(本文 P92～P94)

・「東京の医療・福祉」53%、「東京の防災・安全」51%、「東京の教育・子育て」32%が続く



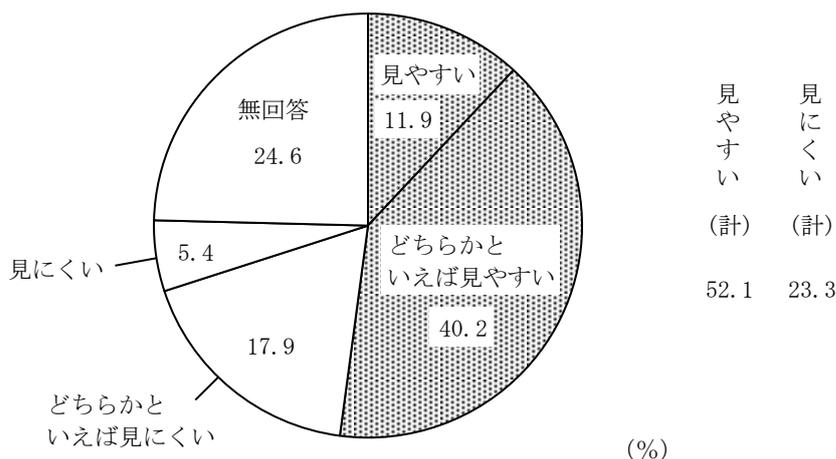
3 東京都公式ホームページ

(1) 東京都公式ホームページのデザイン・レイアウト：東京都公式ホームページの「デザイン・レイアウト（見やすさ）」についてどう思うか聞いた。

(本文P95～P96)

・『見やすい（計）』は52%、『見にくい（計）』は23%

(n=1,544)



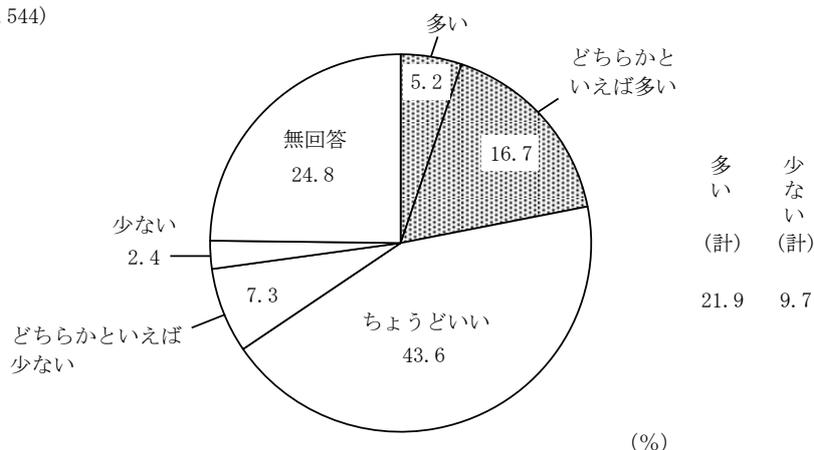
(注) 『見やすい (計)』は「見やすい」「どちらかといえば見やすい」の合計
『見にくい (計)』は「見にくい」「どちらかといえば見にくい」の合計

(2) 東京都公式ホームページの情報量（文字・画像など）：東京都公式ホームページの「情報量（文字・画像など）」についてどう思うか聞いた。

(本文P97～P98)

・「ちょうどいい」は44%、『多い (計)』は22%、『少ない (計)』は10%

(n=1,544)

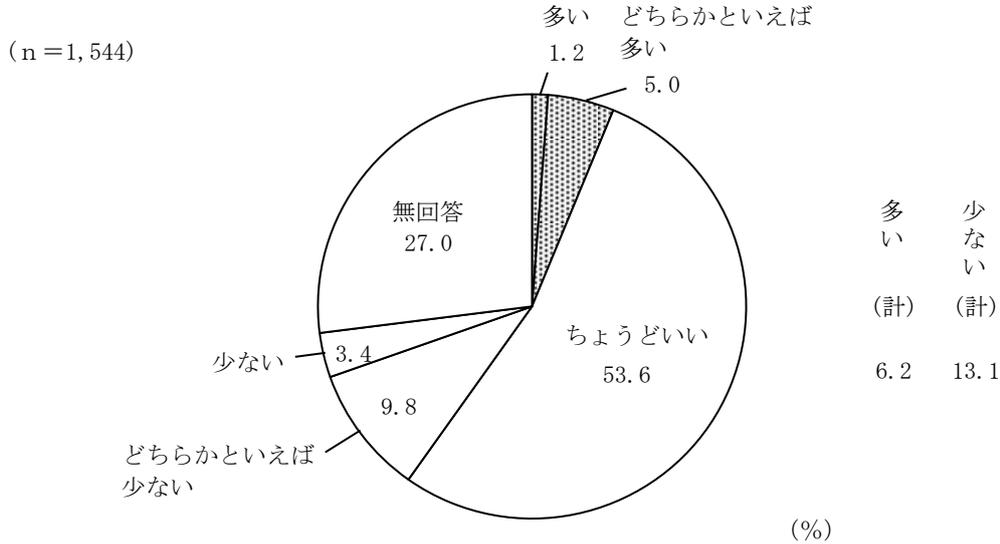


(注) 『多い (計)』は「多い」「どちらかといえば多い」の合計
『少ない (計)』は「少ない」「どちらかといえば少ない」の合計

(3) 東京都公式ホームページの情報の更新頻度：東京都公式ホームページの「情報の更新頻度」についてどう思うか聞いた。

(本文P99～P100)

・「ちょうどいい」は54%、『多い(計)』は6%、『少ない(計)』は13%

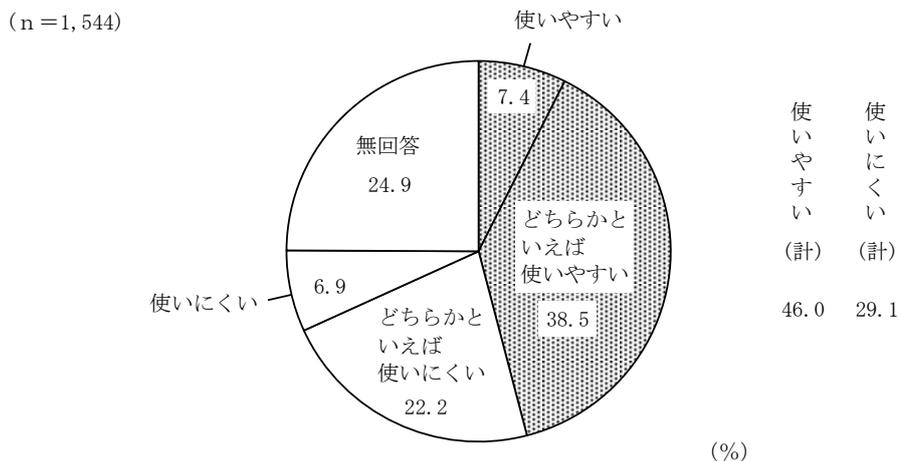


(注) 『多い(計)』は「多い」「どちらかといえば多い」の合計
『少ない(計)』は「少ない」「どちらかといえば少ない」の合計

(4) 東京都公式ホームページの検索機能：東京都公式ホームページの「検索機能」についてどう思うか聞いた。

(本文P101～P102)

・『使いやすい(計)』は46%、『使いにくい(計)』は29%



(注) 『使いやすい(計)』は「使いやすい」「どちらかといえば使いやすい」の合計
『使いにくい(計)』は「使いにくい」「どちらかといえば使いにくい」の合計

(5) 東京都公式ホームページの満足度：東京都公式ホームページの満足度を聞いた。

(本文P103～P104)

・『満足(計)』は53.4%、『不満(計)』は22.0%

(注) 『満足(計)』は「満足」「まあ満足」の合計
『不満(計)』は「不満」「やや不満」の合計

4 東京都提供のテレビ・ラジオ番組

(1) 東京都提供のテレビ・ラジオ番組の認知・視聴（聴取）状況：東京都提供番組の認知・視聴（聴取）状況について聞いた。

（本文P105～P110）

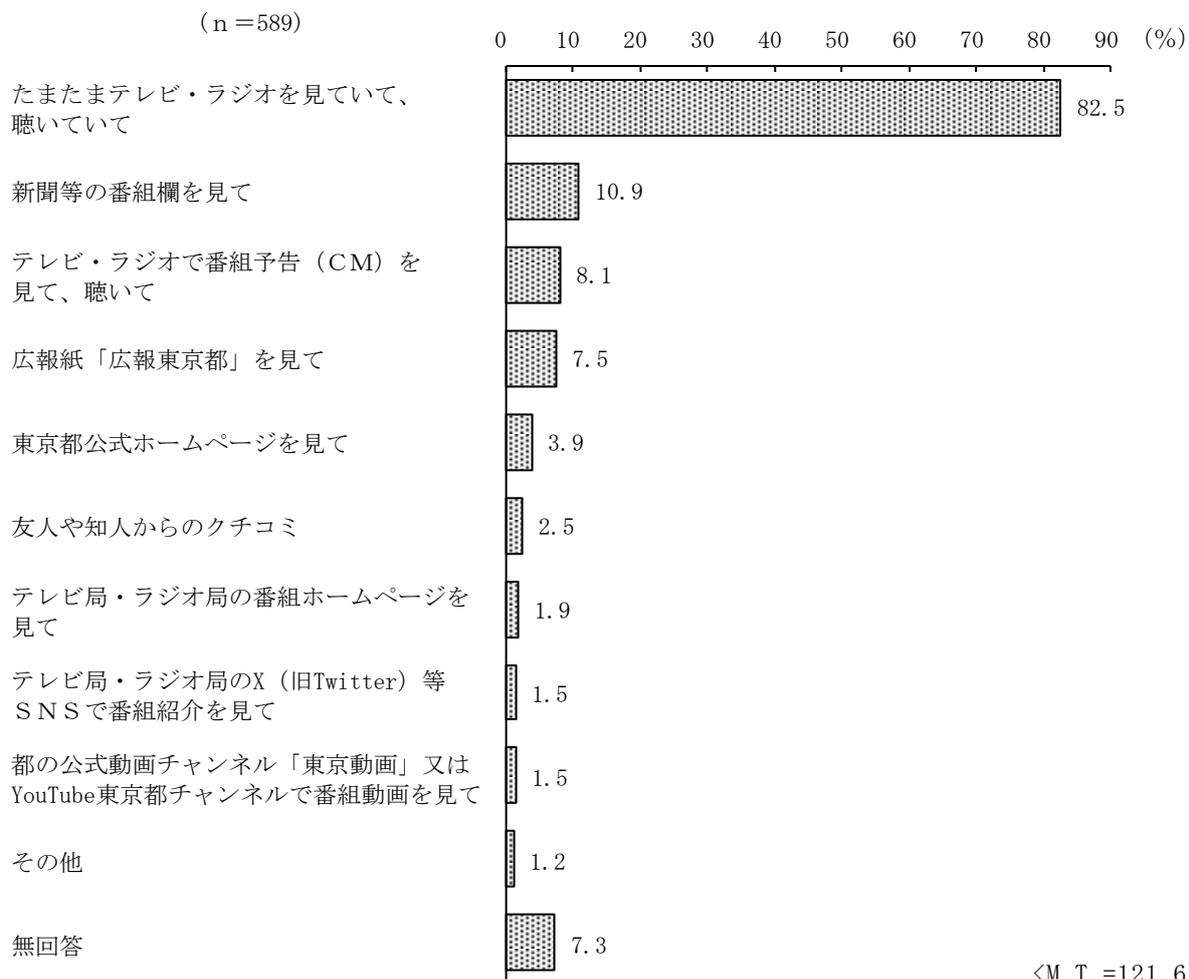
・『見た・聴いた（計）』は「東京サイト（テレビ朝日）」24.4%、「東京インフォメーション（TOKYO MX）」20.4%、「東京GOOD！（テレビ東京）」13.1%、「東京交差点」9.8%、「都民ニュース（TBSラジオ）」6.9%

（注）『見た・聴いた（計）』は「よく見る・聴く」「たまに見る・聴く」「見た・聴いたことがある」の合計

(2) 番組を見た、聴いたきっかけ：東京都提供のテレビ・ラジオ番組を「よく見る・聴く」「たまに見る・聴く」「見た・聴いたことがある」と答えた人（589人）に、番組を見た、聴いたきっかけを聞いた。（M. A.）

（本文P111～P114）

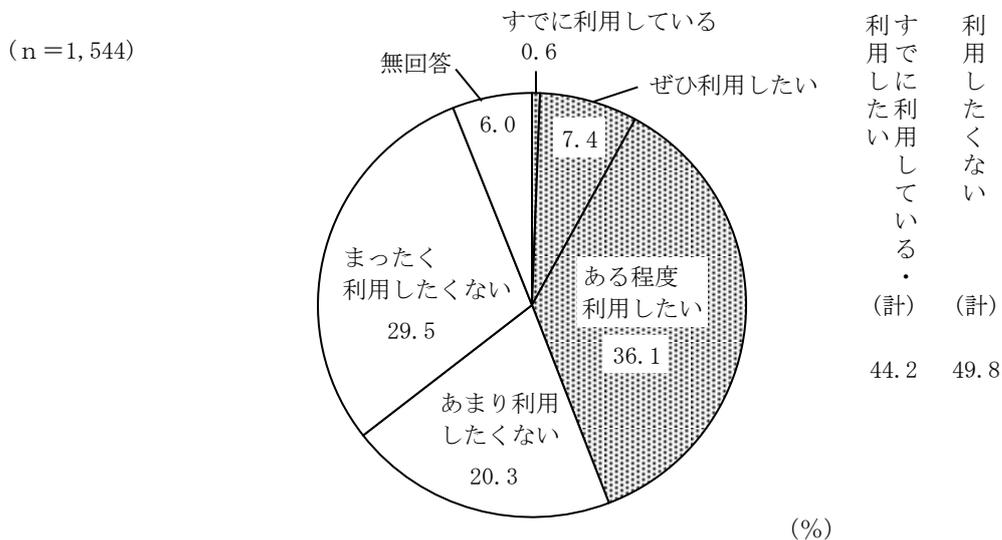
・「たまたまテレビ・ラジオを見ていて、聴いていて」83%、「新聞等の番組欄を見て」11%、「テレビ・ラジオで番組予告（CM）を見て、聴いて」8%と続く



5 東京都のデジタルポータルサイト

(1) ポータルサイト「My TOKYO」の利用状況や利用意向：「My TOKYO」の利用状況や利用意向を聞いた。
(本文P115～P116)

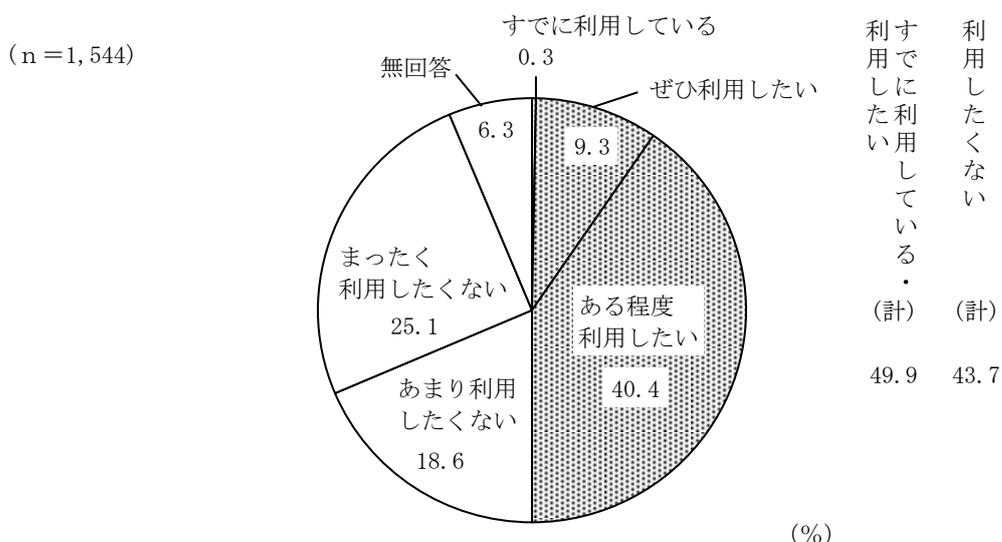
- ・『すでに利用している・利用したい (計)』は 44%
- ・『利用したくない (計)』は 50%



(注) 『すでに利用している・利用したい (計)』は「すでに利用している」「ぜひ利用したい」「ある程度利用したい」の合計
『利用したくない (計)』は「まったく利用したくない」「あまり利用したくない」の合計

(2) ポータルサイト「Tokyo 支援ナビ」の利用状況や利用意向：「Tokyo 支援ナビ」の利用状況や利用意向を聞いた。
(本文P117～P118)

- ・『すでに利用している・利用したい (計)』は 50%
- ・『利用したくない (計)』は 44%



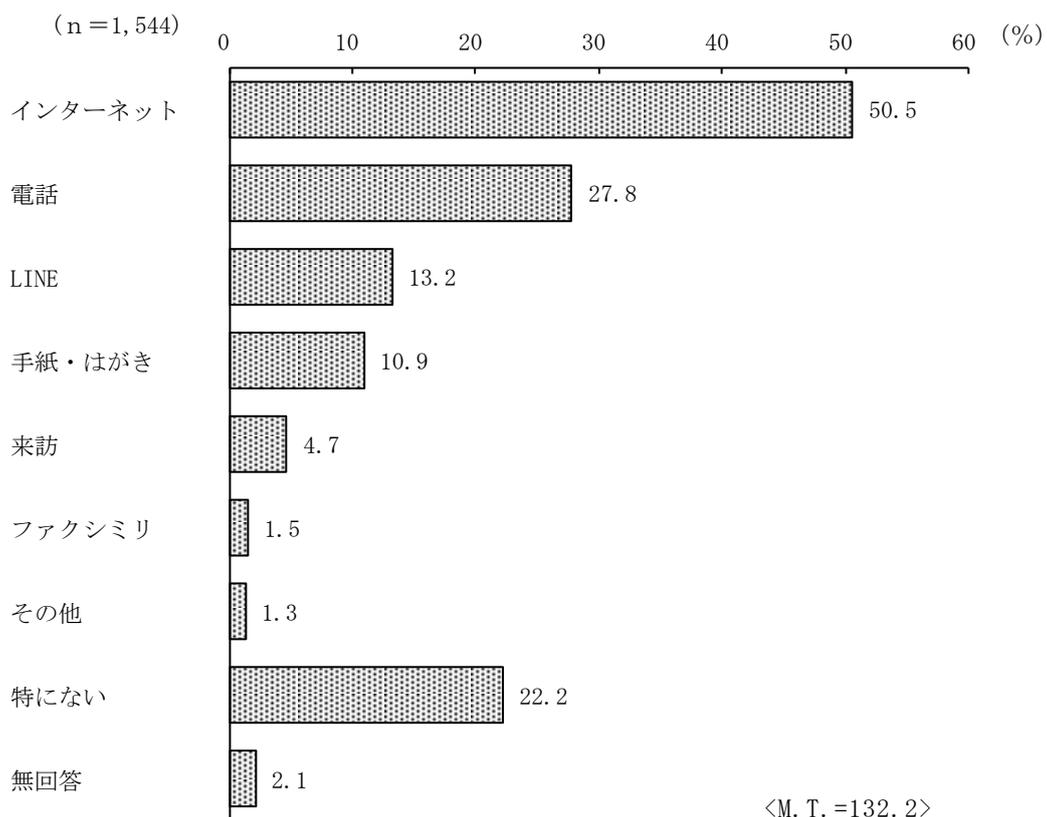
(注) 『すでに利用している・利用したい (計)』は「すでに利用している」「ぜひ利用したい」「ある程度利用したい」の合計
『利用したくない (計)』は「まったく利用したくない」「あまり利用したくない」の合計

6 東京都の広聴活動

(1) 提言・意見や苦情・要望を述べる方法：東京都に提言・意見や苦情・要望を述べたいとき、どのような方法を選ぶか聞いた。(M. A.)

(本文P119～P121)

・「インターネット」51%、「電話」28%、「LINE」13%が続く

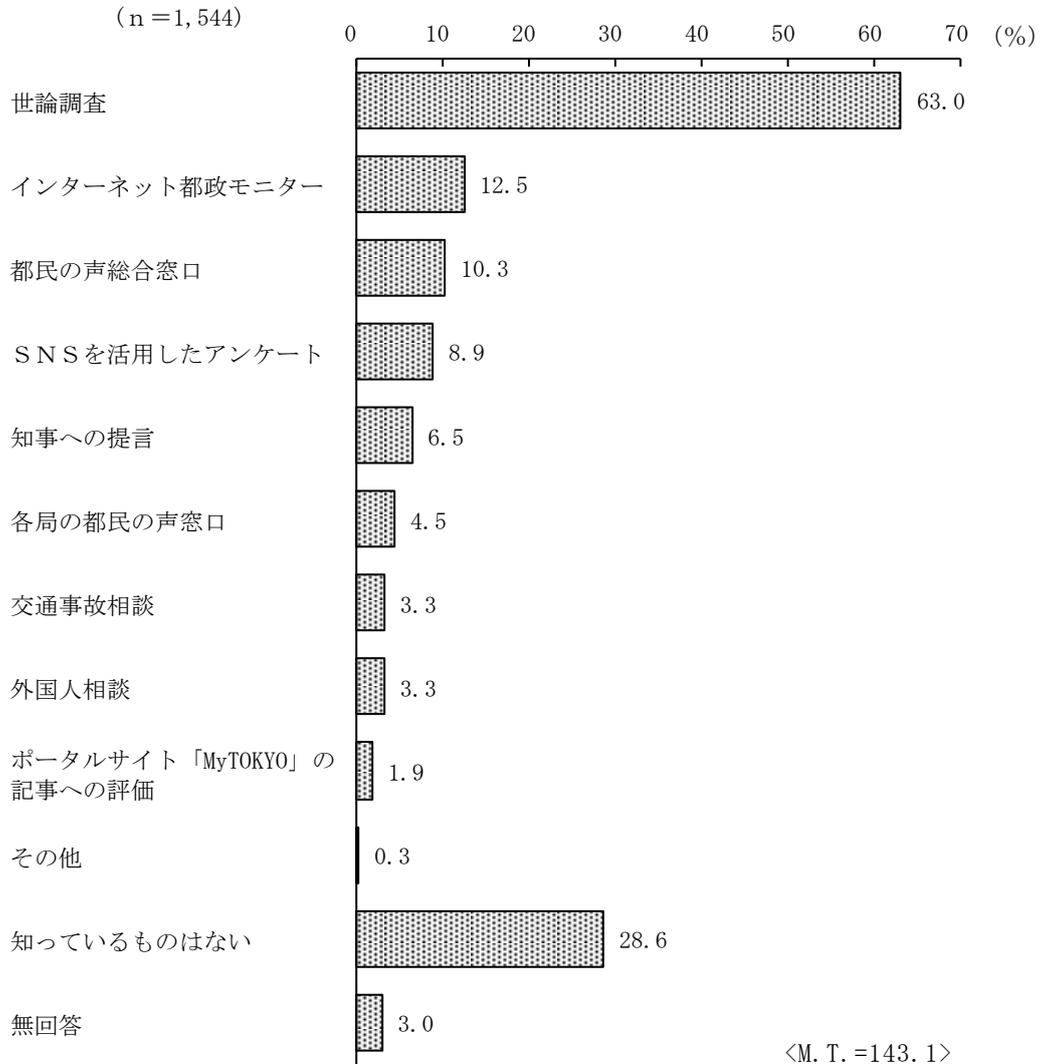


(2) 東京都の広聴活動の周知状況：東京都が行う主な広聴活動の中で知っているものを聞いた。

(M. A.)

(本文P122～P124)

・「世論調査」63%、「インターネット都政モニター」13%、「都民の声総合窓口」10%と続く

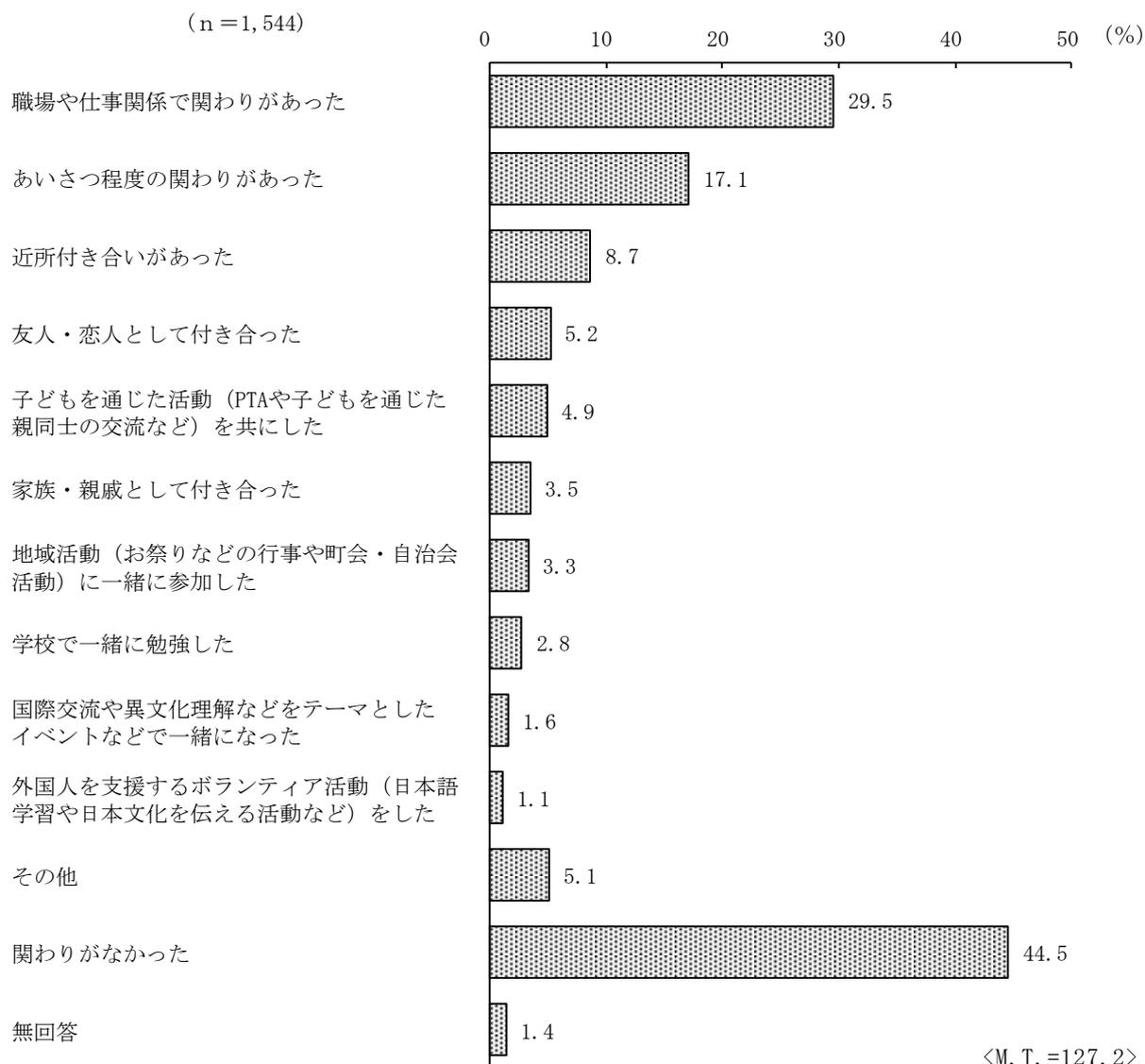


7 多文化共生

(1) 東京に暮らす外国人との関わり：この1年間で、東京に暮らす外国人とどのような関わりがあったか聞いた。(M. A.)

(本文P125～P127)

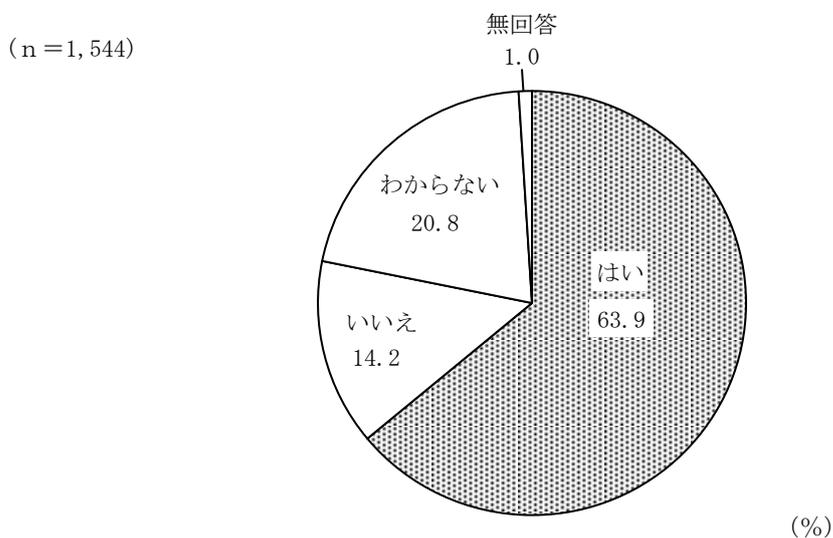
・「職場や仕事関係で関わりがあった」30%、「あいさつ程度の関わりがあった」17%、「近所付き合いがあった」9%と続く



(2) 外国人が身近に暮らしていること：外国人が身近に暮らしていることが当たり前と感ずるか聞いた。

(本文P128～P129)

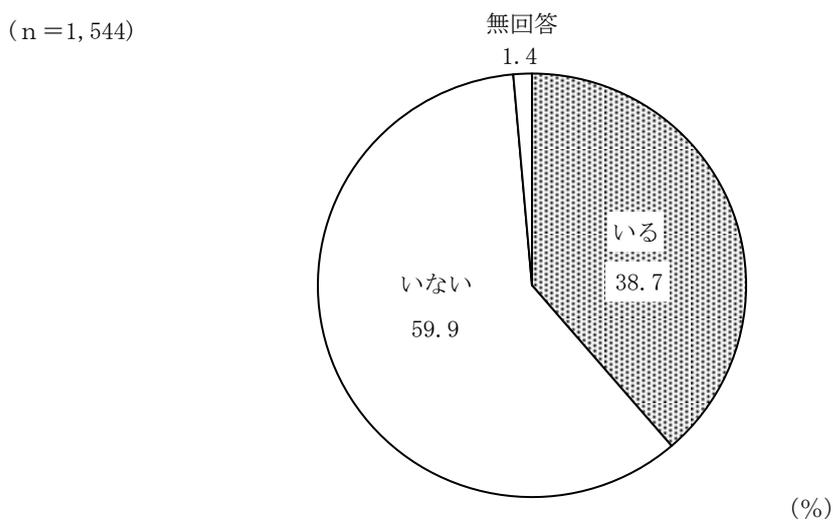
- ・「はい」は64%
- ・「いいえ」は14%



(3) 身近に外国籍の方や外国にルーツがある方の有無：身近（家族、親族、学校、職場、友人、近隣など）に外国籍の方や外国にルーツがある方がいるか聞いた。

(本文P130～P131)

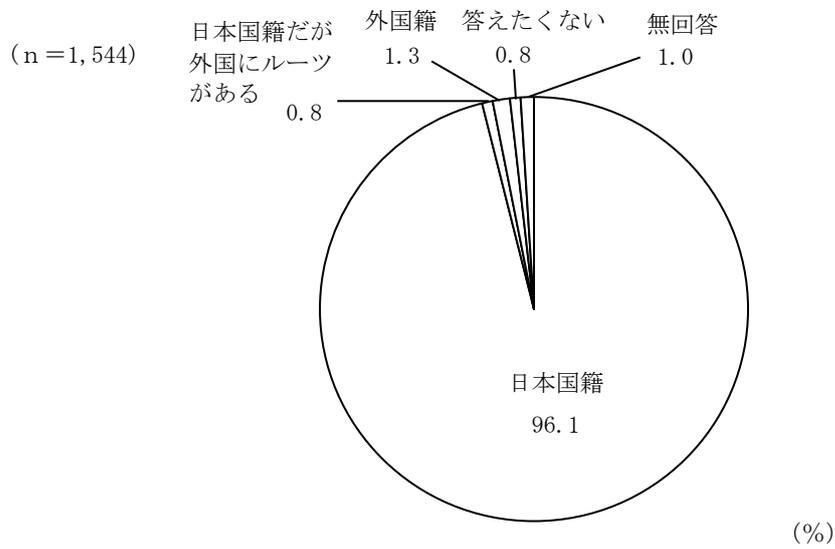
- ・「いる」は39%
- ・「いない」は60%



(4) 国籍等：国籍等を聞いた。

(本文P132～P133)

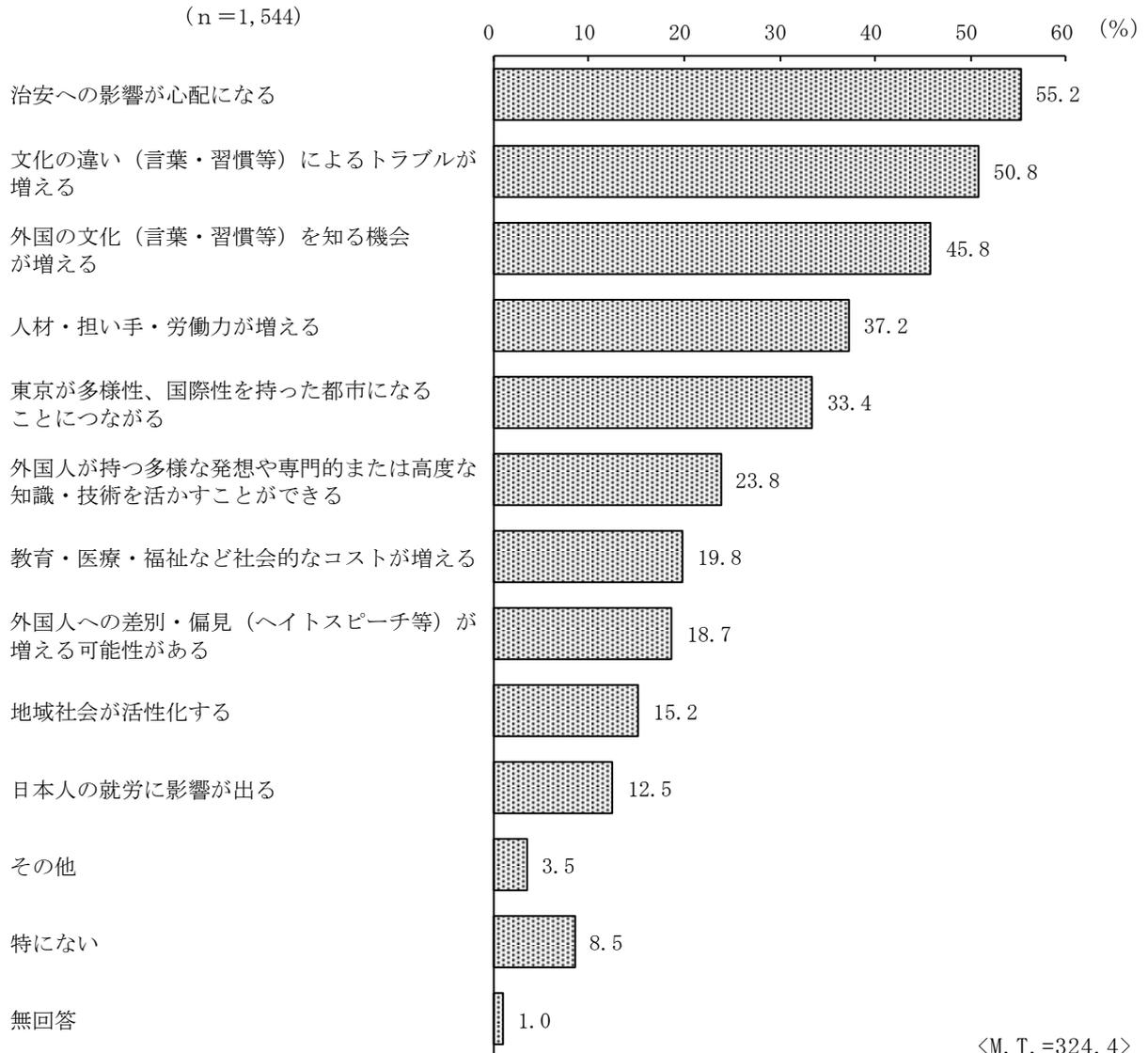
- ・「日本国籍」は96%
- ・「日本国籍だが外国にルーツがある」、「外国籍」は1%



(5) 近所に外国人が住むことの影響：近所に様々な国籍の外国人が住むことについて、どのようなことを感じるか聞いた。(M. A.)

(本文P134～P136)

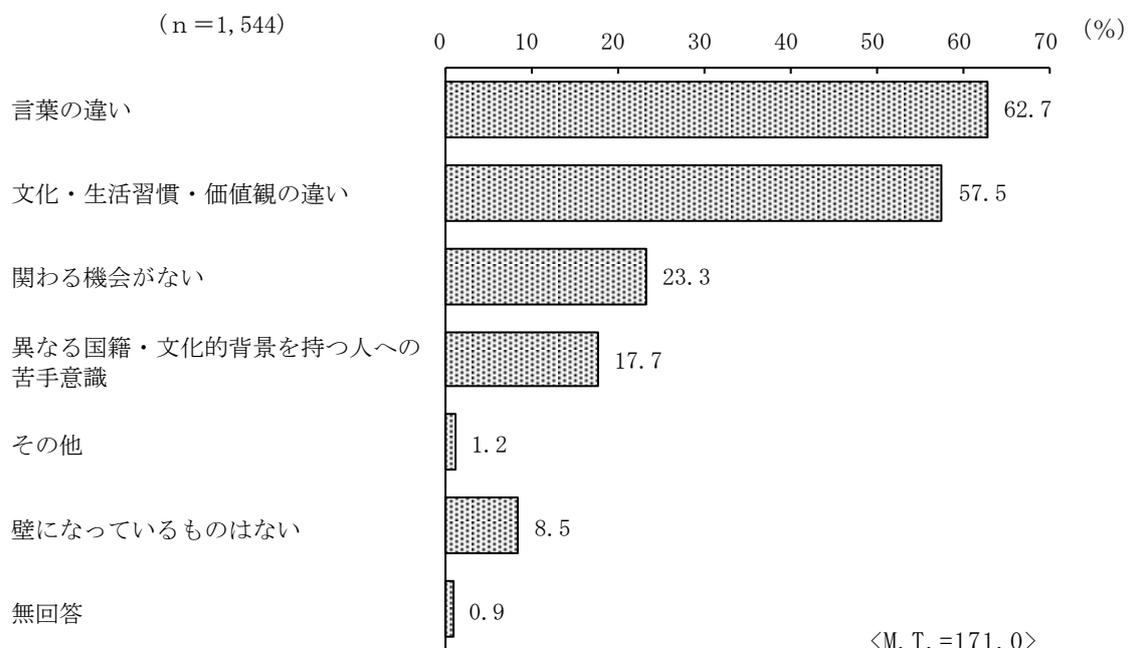
- ・「治安への影響が心配になる」55%、「文化の違い（言葉・習慣等）によるトラブルが増える」51%、「外国の文化（言葉・習慣等）を知る機会が増える」46%と続く



(6) 壁に感じていること：自身と異なる国籍・文化的背景を持つ人と関わるに当たり、壁になっていると感じるものを聞いた。(3M. A.)

(本文P137～P139)

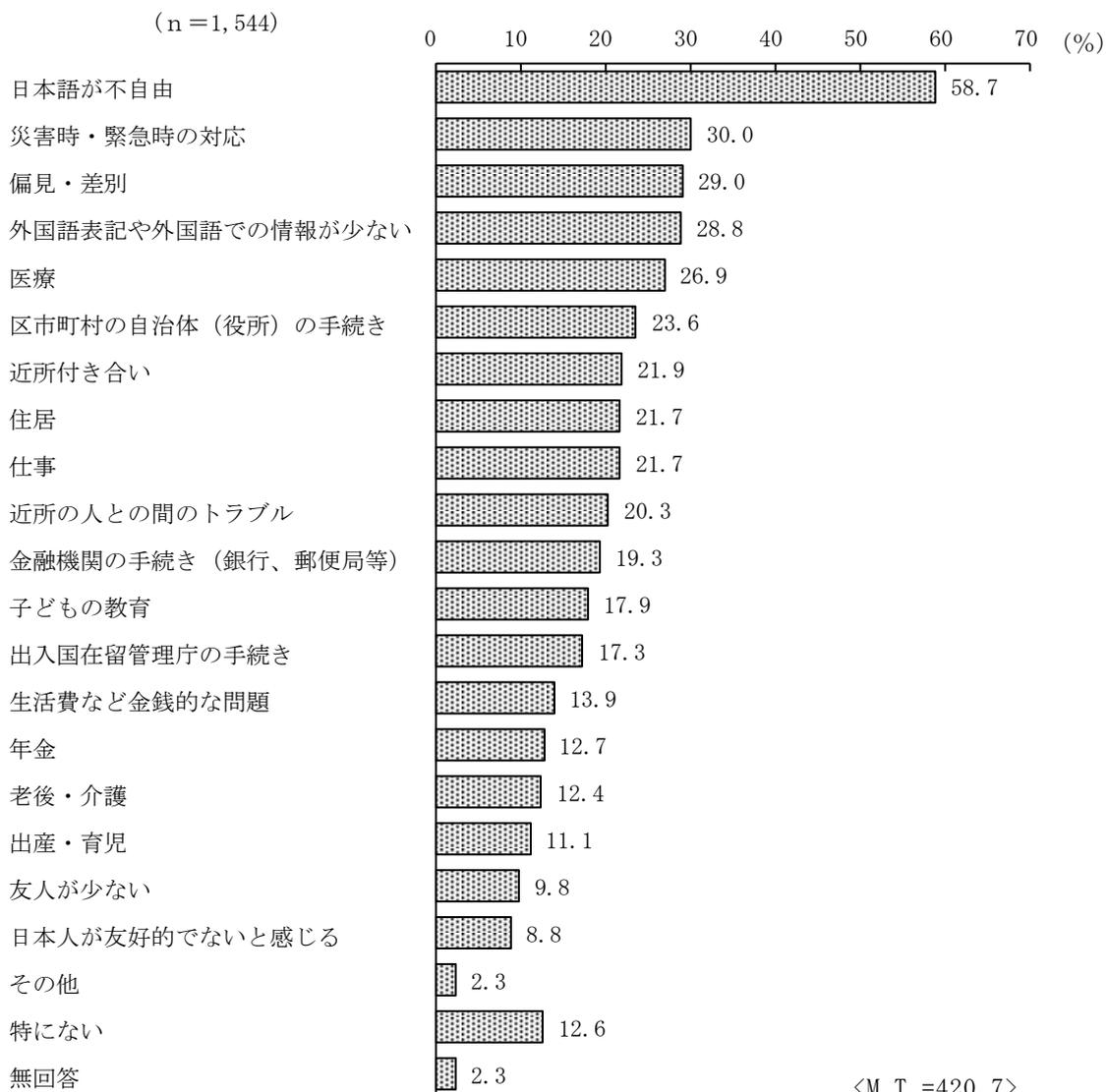
・「言葉の違い」63%、「文化・生活習慣・価値観の違い」58%、「関わる機会がない」23%と続く



(7) 東京で暮らす外国人が困っていること、不満なこと：東京で暮らす外国人が生活する上で困っていること、不満なことは何だと思うか聞いた。(M. A.)

(本文 P 140～P 141)

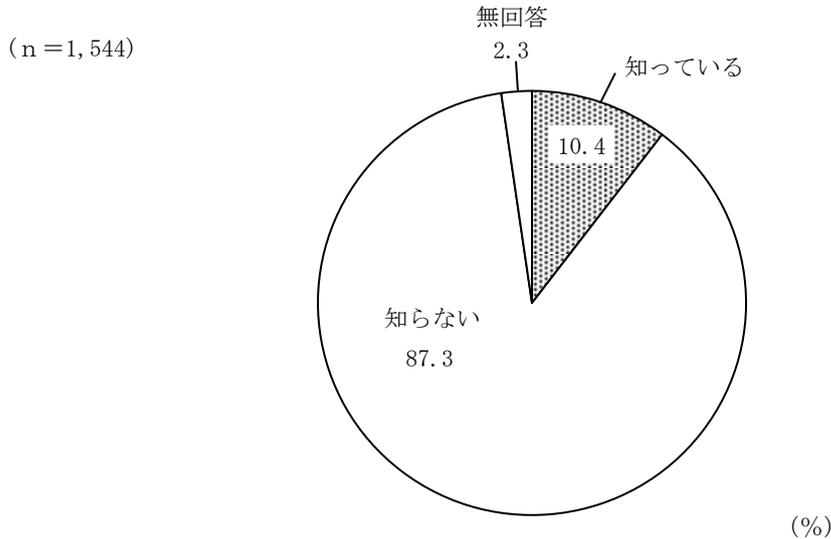
・「日本語が不自由」59%、「災害時・緊急時の対応」30%、「偏見・差別」、「外国語表記や外国語での情報が少ない」29%と続く



(8) 多文化共生社会の実現に向けた東京都の取り組みの認知：東京都が、(公財)東京都つながり創生財団とともに、多文化共生社会の実現に向けて、様々な事業に取り組んでいることを知っているか聞いた。

(本文 P142～P143)

- ・「知っている」は 10%
- ・「知らない」は 87%



※ (公財)東京都つながり創生財団

在住外国人支援などの多文化共生社会づくりや、ボランティア文化の定着や町会・自治会等の支援など共助社会づくりを推進する事業に取り組み、地域コミュニティの活性化を目指している、東京都の政策連携団体

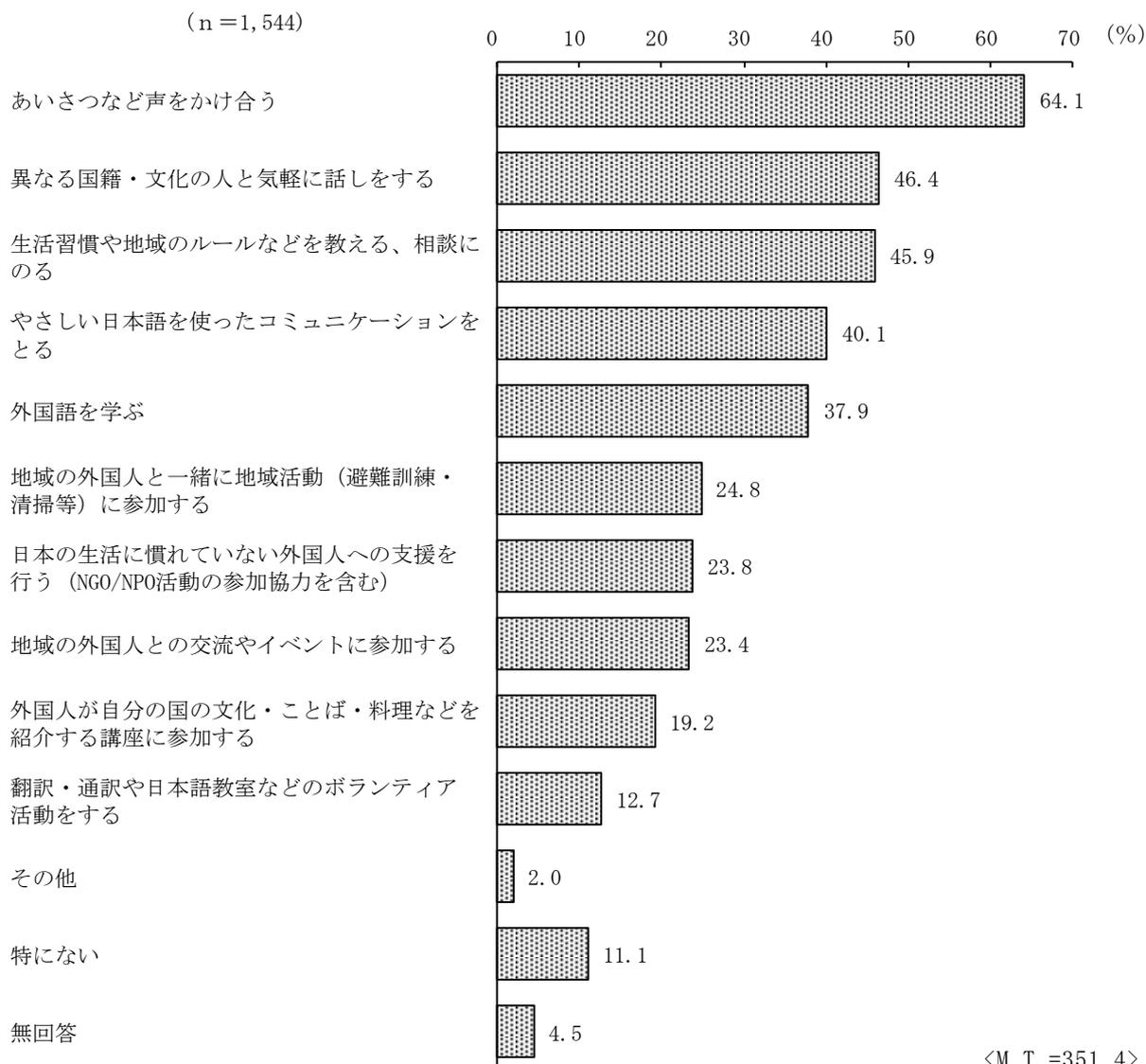
(参考) 多文化共生社会づくりに関する事業・取組例

事業	概要
■ 外国人向け情報提供	外国人やその支援者にとって理解しやすく有用な情報を発信
■ 外国人相談事業	外国人が困りごと等を相談できる窓口を運営
■ 地域における日本語教育推進体制の整備	財政支援等により地域での日本語教育を推進
■ 「やさしい日本語」普及啓発事業	外国人も日本人も理解できる言語である「やさしい日本語」の普及・活用を促進
■ 多文化共生に向けた人材育成・ネットワーク構築	多文化共生を推進する人材を育成するとともに、関係者間のネットワークを構築
■ 日本語を母語としない子どもへの支援	日本語を母語としない子どもとその保護者の悩みに寄り添うコーディネーターの設置を支援
■ 在住外国人支援事業助成	民間団体が行う都内在住外国人を支援する事業を助成
■ 外国人に対する防災知識の普及啓発	外国人向けに防災館ツアーを行うなど、防災知識を普及啓発
■ 災害時の外国人支援体制の構築	防災（語学）ボランティアの管理など、災害時に迅速に外国人を支援できる体制を構築

(9) 多文化共生の社会づくりに向けて必要だと思うこと：多文化共生の社会づくりに向けて、必要だと思っていることを聞いた。(M. A.)

(本文P144～P146)

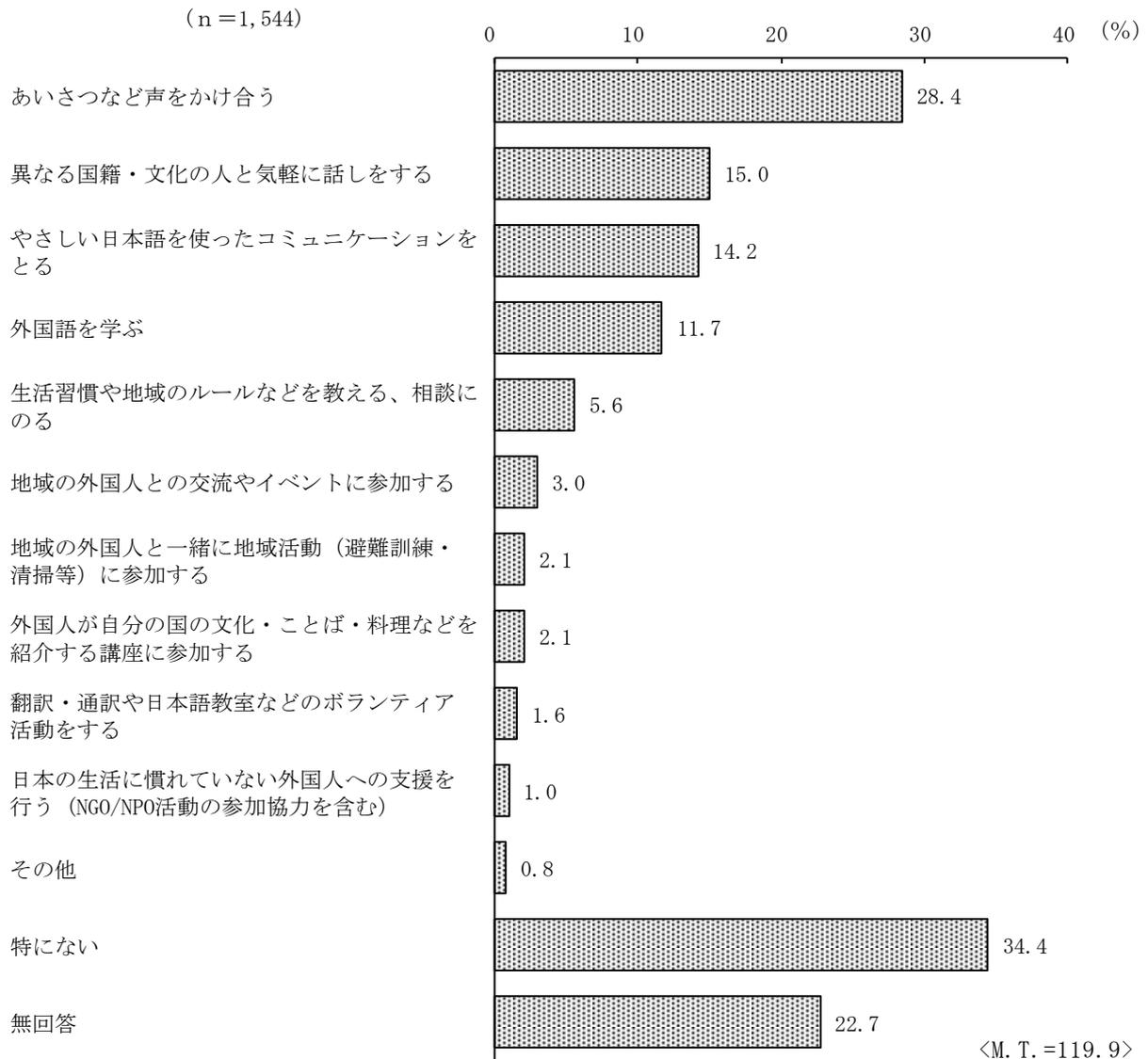
・「あいさつなど声をかけ合う」64%、「異なる国籍・文化の人と気軽に話しをする」46%、「生活習慣や地域のルールなどを教える、相談にのる」46%と続く



(10) 多文化共生の社会づくりに向けて取り組んでいること：多文化共生の社会づくりに向けて、実際に取り組んでいることを聞いた。(M. A.)

(本文P147～P149)

・「あいさつなど声をかけ合う」28%、「異なる国籍・文化の人と気軽に話しをする」15%、「やさしい日本語を使ったコミュニケーションをとる」14%と続く



(11) 多文化共生の社会づくりに向けて東京都が力を入れるべきこと：多文化共生の社会づくりに向けて、今後東京都はどのようなことに力を入れるべきだと思うか聞いた。(5M. A.)

(本文 P 150～P 153)

・「外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」66%、「外国人に対して日本語の学習を支援する」38%、「外国人に対する相談体制を充実する」33%と続く

